

名張市男女共同参画に関する  
市民意識調査報告書

平成27年9月

名　　張　　市

## 目 次

---

I	市民意識調査の概要	1
II	回答者の属性	2
1.	性別	2
2.	年齢別	2
3.	職業別	2
4.	未婚・既婚の別	3
5.	家族構成	3
III	市民意識調査結果	4
1.	男女平等意識について	4
2.	家庭生活について	7
3.	就労・職業について	12
4.	女性の社会参画について	16
5.	男女の人権について	19
6.	「名張市男女共同参画センター」について	23
IV	資料	24
	市民意識調査票	24

# I 市民意識調査の概要

---

## 1. 調査目的

名張市では、男女共同参画社会の実現に向けて様々な取り組みを行っています。この調査は、男女共同参画に関する市民の意識や実態、ニーズを把握し、第二次男女共同参画基本計画策定の基礎資料とともに、今後の男女共同参画推進のための施策に反映させることを目的とします。

## 2. 調査対象

名張市内在住の平成 26 年 8 月 1 日現在満 20 歳以上の男女 1,500 名  
(住民基本台帳より無作為抽出)

## 3. 調査方法及び実施期間

調査方法：郵送配布、郵送回収

実施期間：平成 26 年 10 月 1 日から平成 26 年 10 月 31 日まで

## 4. 回収状況

対象数	1,495 人
有効回収数	598 人
有効回収率	40.0%

## 5. 調査内容

- ・ 男女平等意識について
- ・ 家庭生活について
- ・ 就労・職業について
- ・ 女性の社会参画について
- ・ 男女の人権について
- ・ 「名張市男女共同参画センター」について

## 6. 調査結果の表示方法

(1) 集計結果の%表示は、小数点以下第 2 位を四捨五入していますので、内訳の合計が 100% にならない場合があります。

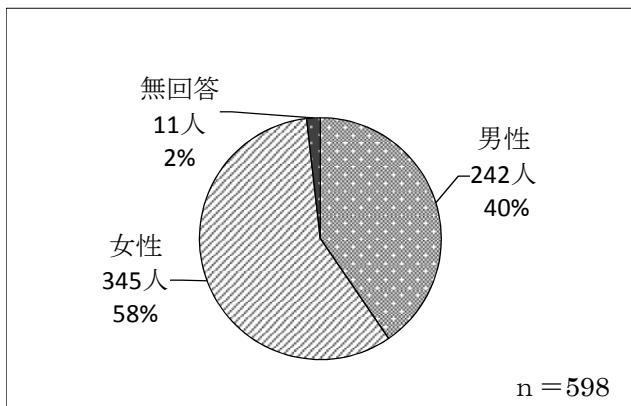
(2) 複数回答の設問の場合、各設問の有効回答数 (N) を基数とし回答比率の算出をしています。

$$\text{※ 回答比率 (\%)} = \text{回答数} / N \times 100$$

(3) グラフ中の選択肢の記述については、実際の選択肢を簡略化している場合があります。

## II 回答者の属性

### 1. 性別

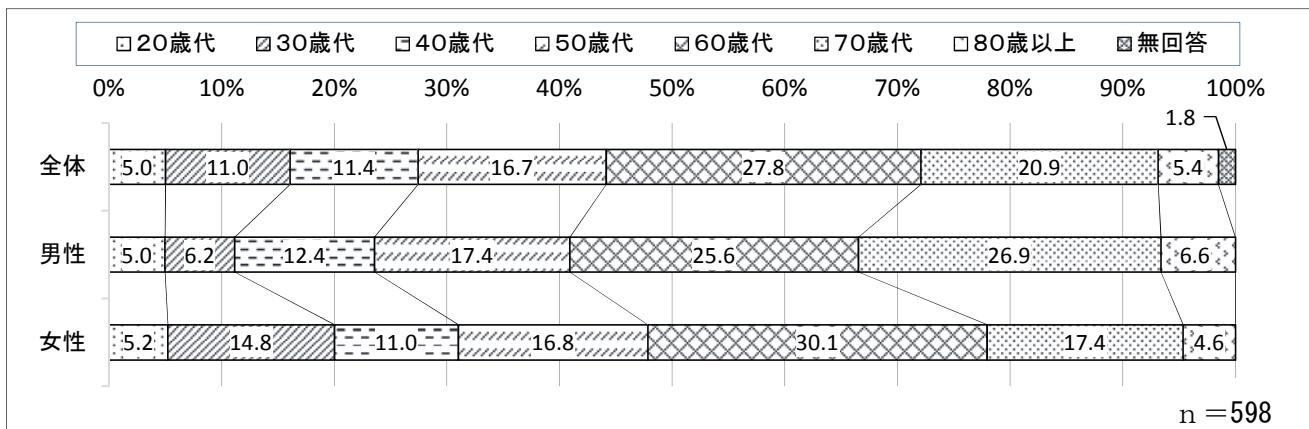


回答者の性別構成比は、「女性」58%、「男性」40%と女性が6割を占めています。

### 2. 年齢別

全体の回答者の年齢層は、60代から70代が多くなっています。

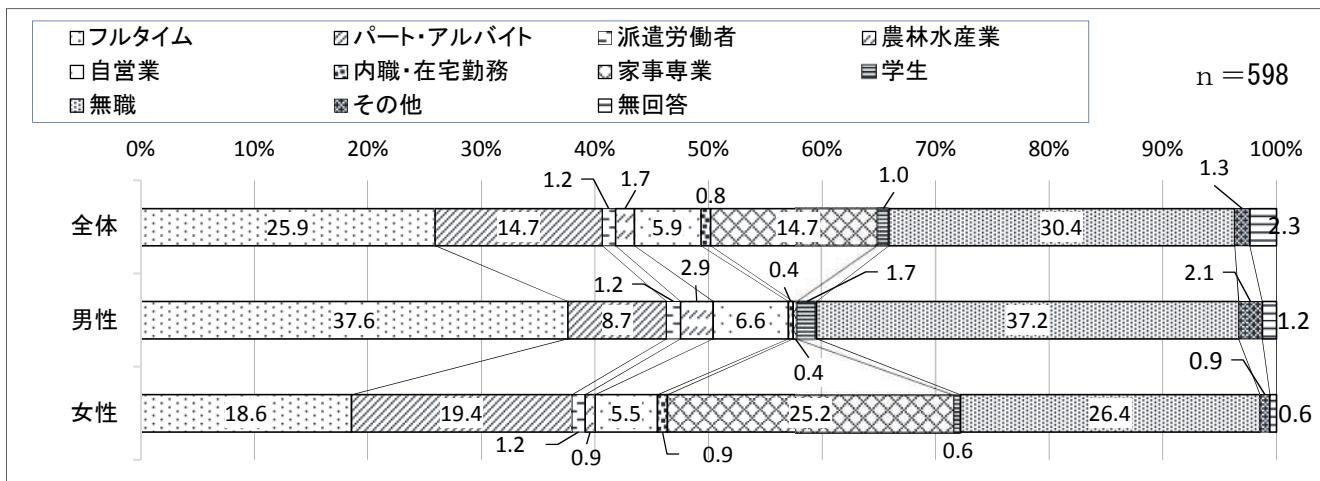
男性では70代が26.9%と一番多く、女性では60代が30.1%と一番多くなっています。



### 3. 職業別

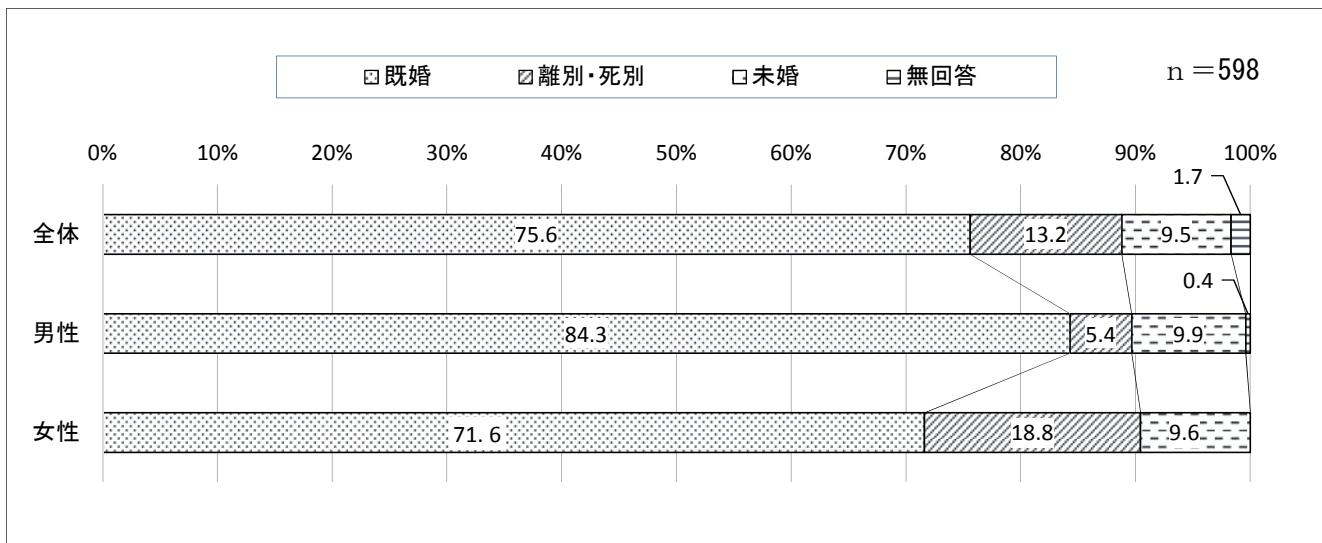
職業別では、「無職」が30.4%と一番多く、次いで「フルタイム」が25.9%となっています。

男性では「フルタイム」が37.6%と一番多く、女性では「無職」が26.4%と一番多くなっています。



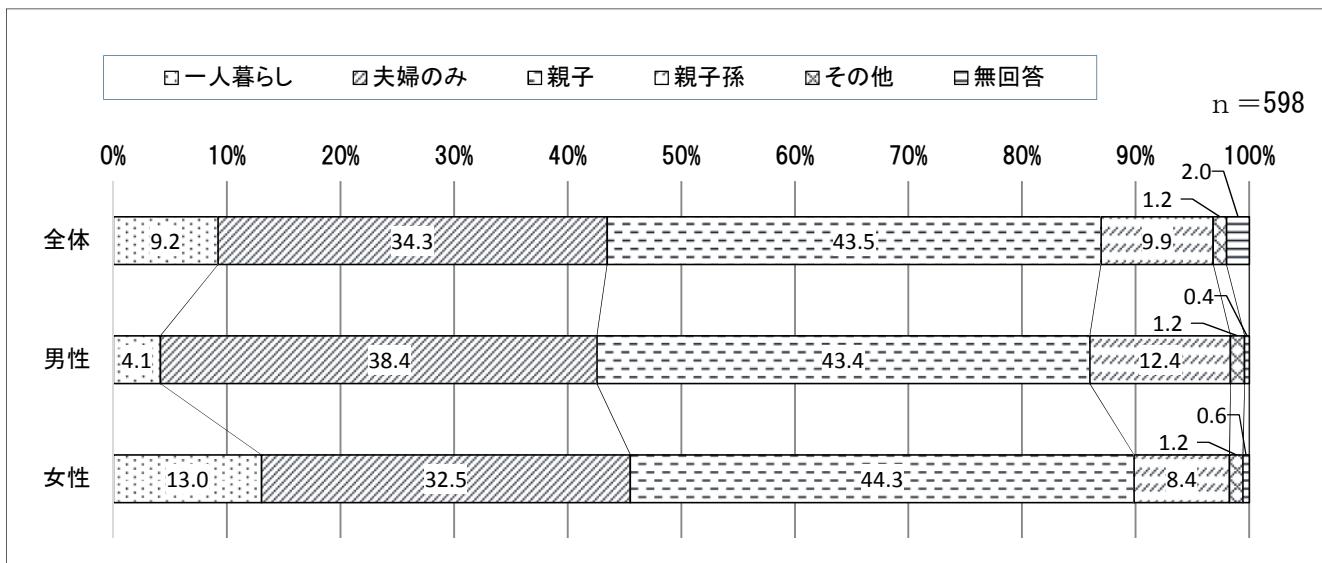
#### 4. 未婚・既婚の別

未既婚をみると、全体では、「既婚（配偶者あり）」が 75.6%、「既婚（離別・死別）」が 13.2%と既婚者が約 9 割を占めています。



#### 5. 家族構成

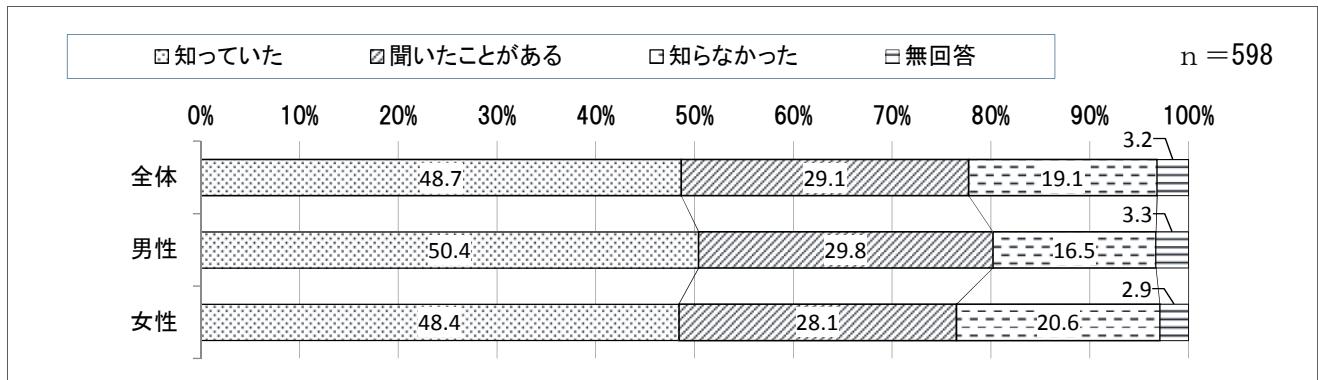
家族構成の全体では、「親子」が、43.5%と一番多く、次いで「夫婦のみ」が 34.3%となっています。



### III 市民意識調査結果

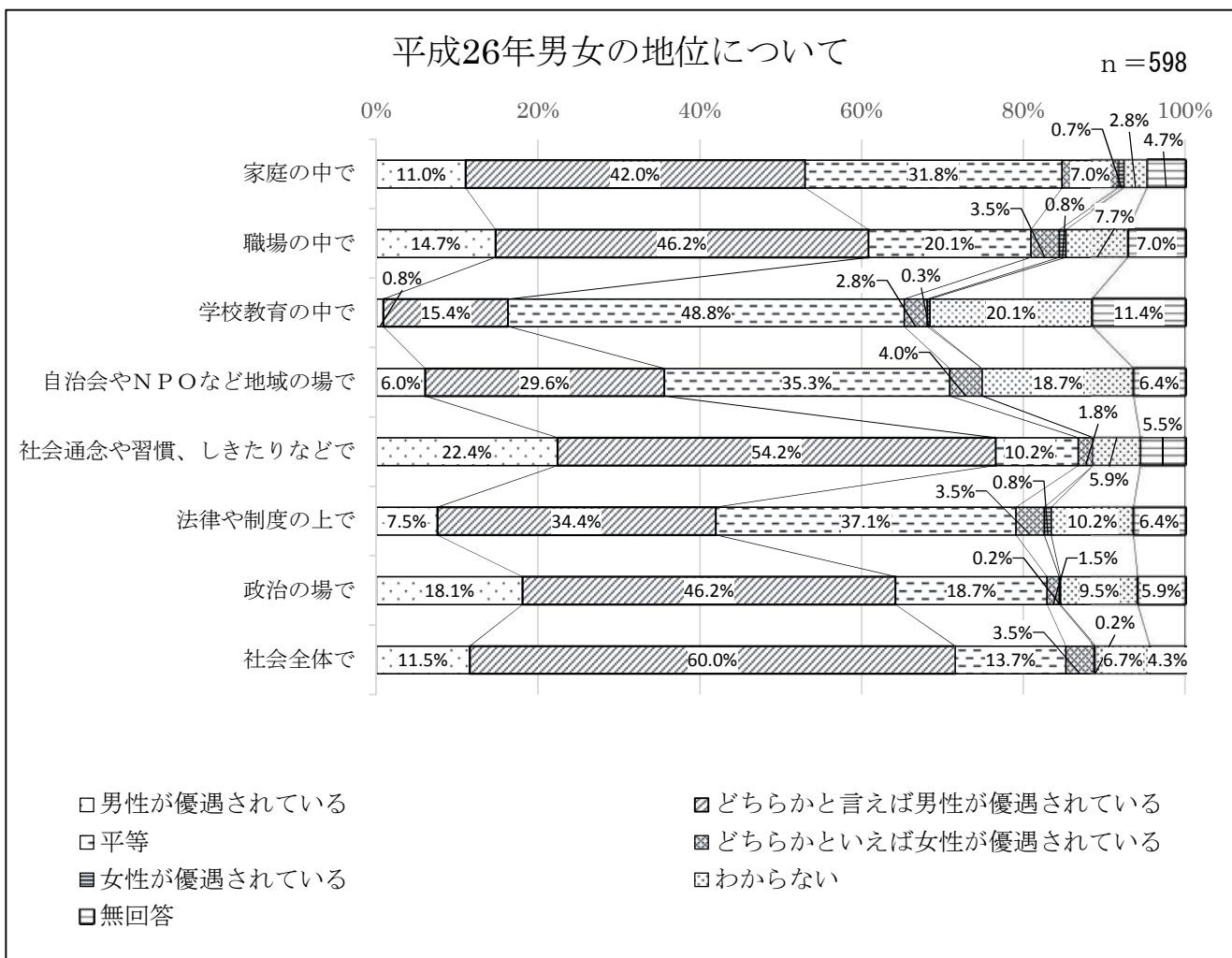
#### 1. 男女平等意識について

問1. あなたは「男女共同参画」という言葉を知っていましたか。（○は1つ）



「男女共同参画」という言葉の認知度について、全体では「知っていた（知っていた+聞いたことがある）」と答えた人が77.8%と約8割を占めています。

問2. あなたは、次にあげる分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。  
(それぞれの分野で○は1つ)

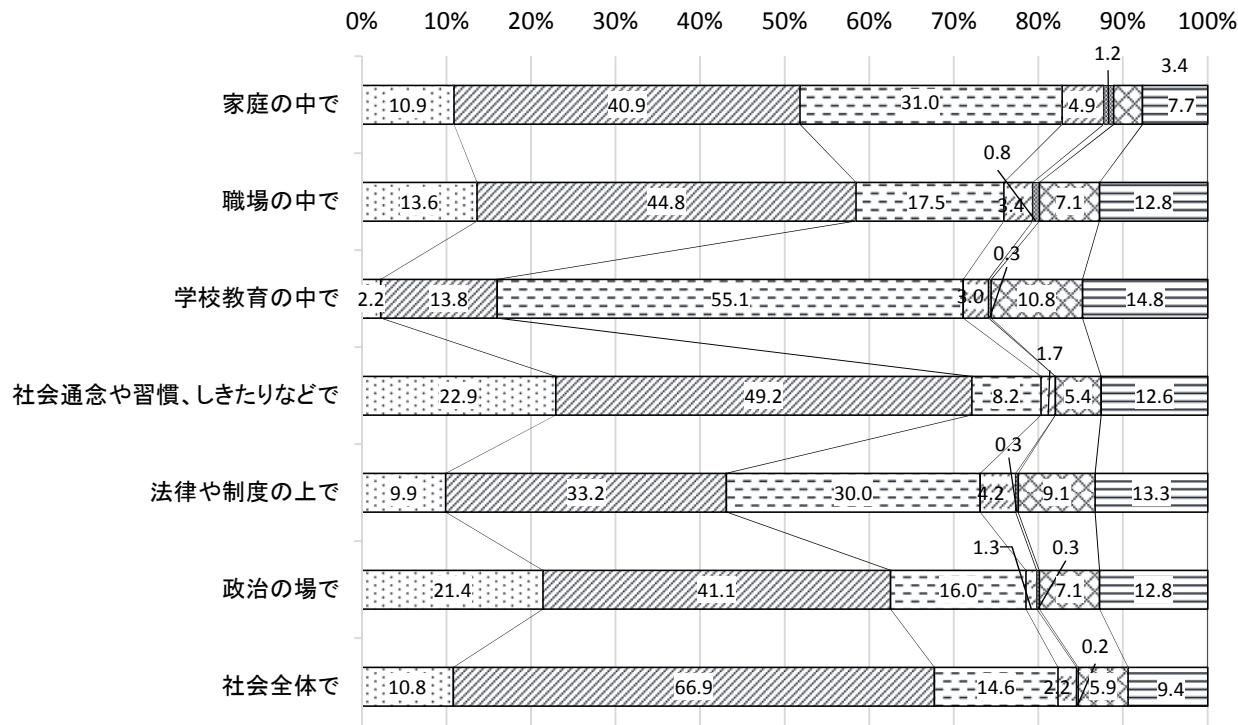


## 平成15年男女の地位について

n = 594

- 男性の方が優遇されている
- 平等
- 女性が優遇されている。
- 無回答

- どちらかと言えば男性が優遇されている
- どちらかといえど女性が優遇されている
- わからない



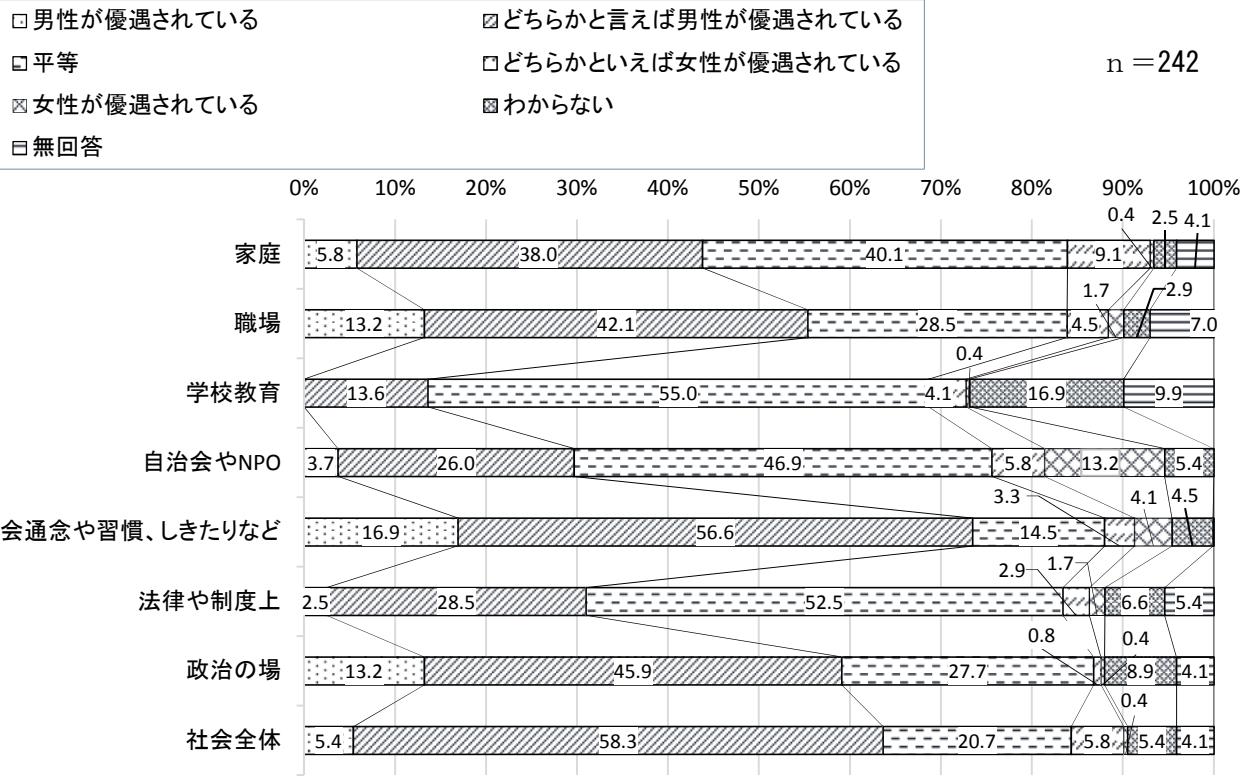
「男性が優遇されている（男性の方が非常に優遇されている+どちらかと言えば男性の方が優遇されている）」と回答があった分野では、「社会通念や慣習、しきたりなどで」が、76.6%と一番高く、次いで「社会全体で」が71.5%となっています。

「女性が優遇されている（女性の方が非常に優遇されている+どちらかと言えば女性の方が優遇されている）」と回答があった分野では、「家庭生活の中で」が7.7%と一番高いものの、各分野で「男性の方が優遇されている」と答えた割合が高くなっています。

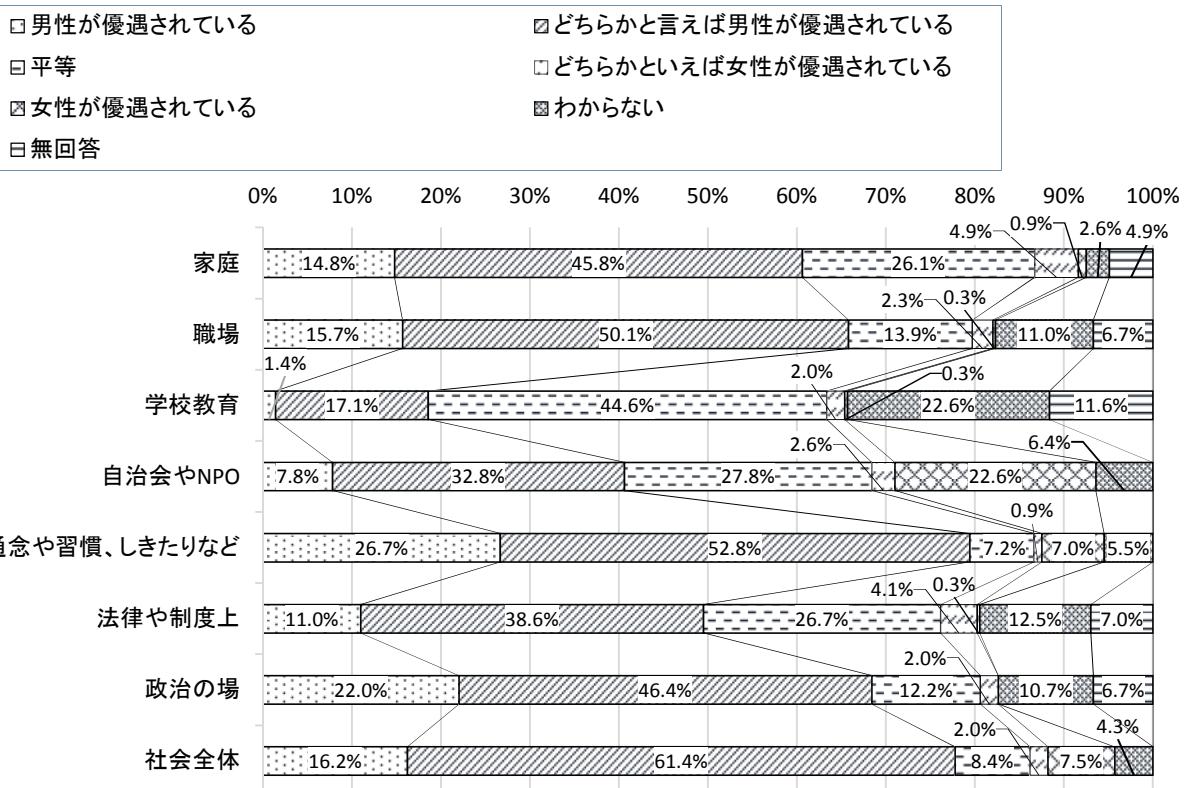
一方、「平等」と回答した人の割合が一番高いのが「学校教育の場で」48.8%、次いで「法や制度の上で」37.1%、「自治会やNPOなど地域の中で」35.3%となっています。

前回（平成15年）と比較すると、ほとんどの分野において平等と答えた人の割合は、増加しています。

## 男性



## 女性



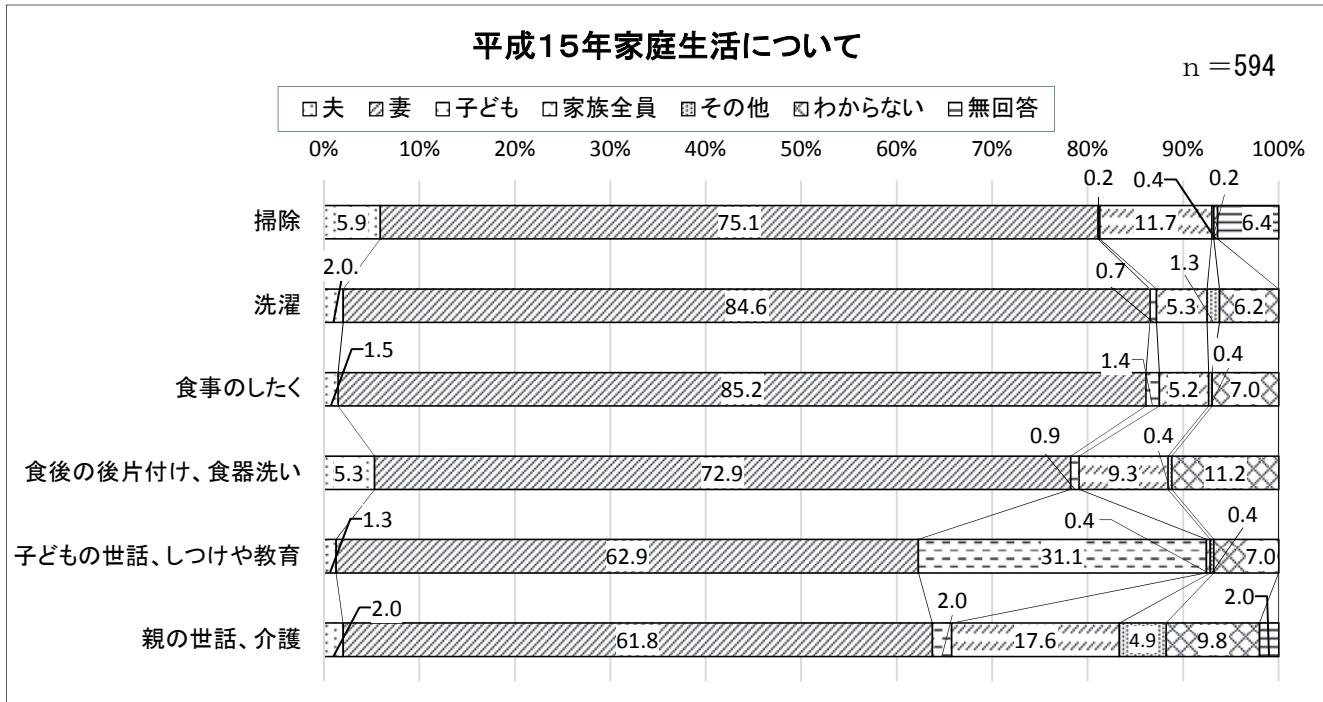
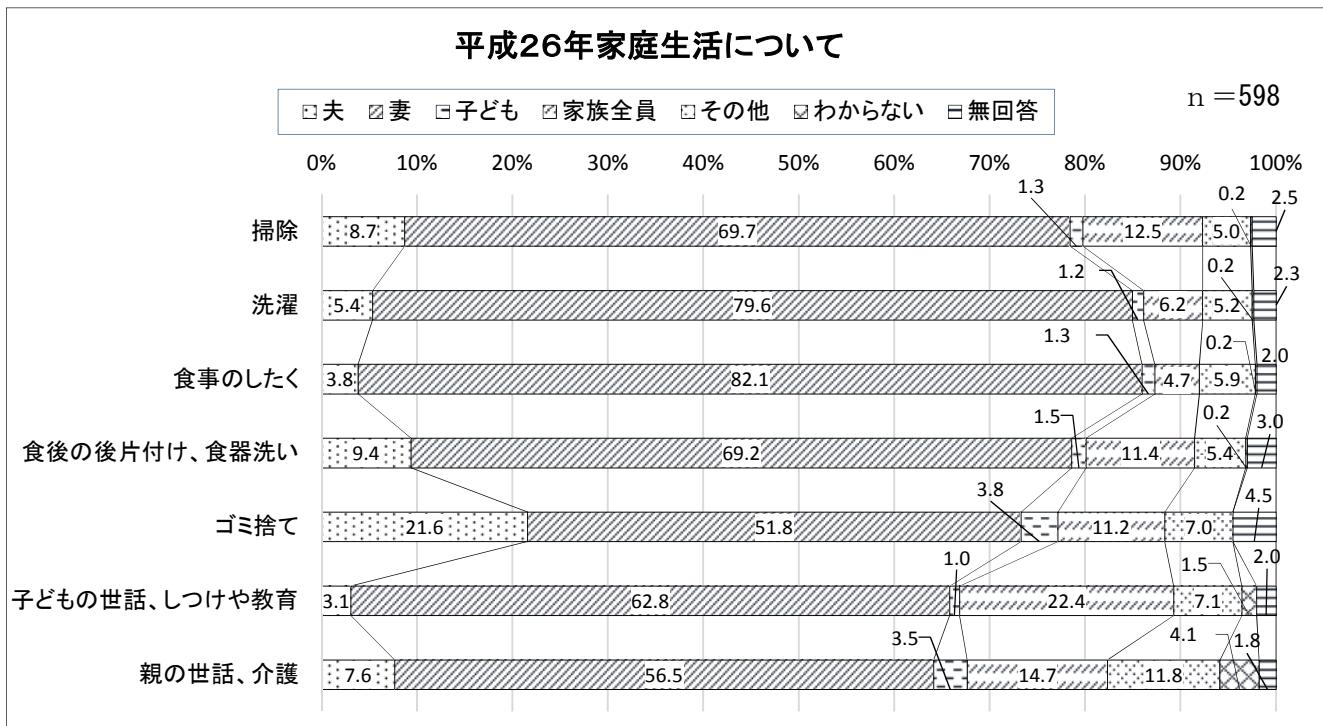
男女別で比較すると、すべての分野において「平等」と答えた人の割合が、男性より女性の方が低くなっています。

また、男性に比べ女性の方が「男性が優遇されている（男性の方が非常に優遇されている+どちらかと言えば男性の方が優遇されている）」と回答した人の占める割合が高くなっています。

## 2. 家庭生活について

問3. あなたの家庭では、次にあげる家事を主に誰がしていますか。

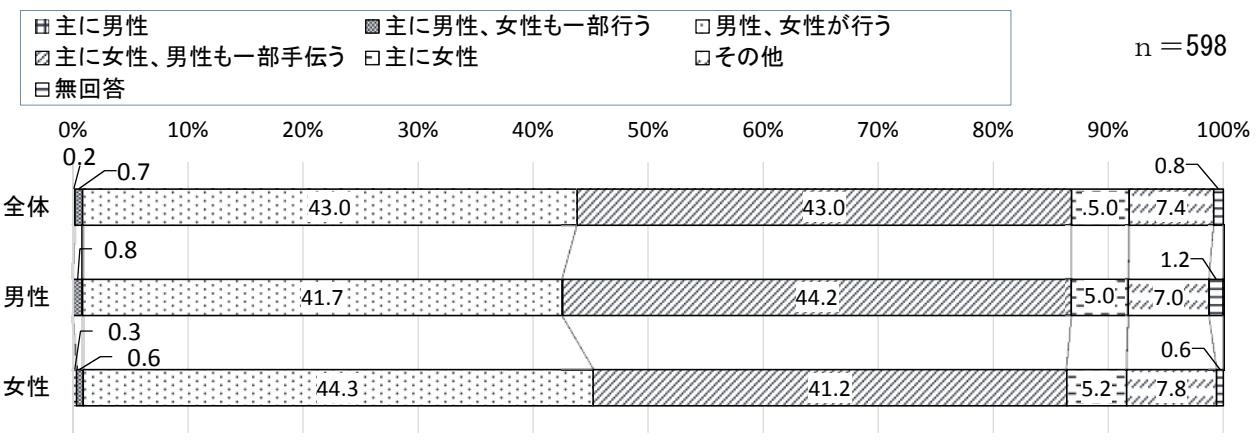
(それぞれの分野で○は1つ)



家庭生活における家事を誰がしているか聞いたところ、全ての分野において、「妻」と答えた割合が高くなっています。

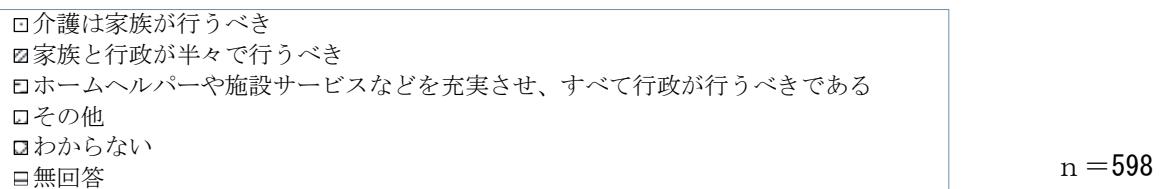
前回調査（平成15年）時と比較すると、全ての分野において僅かではありますが、「夫」と答えた人の割合は、増加しています。

問4. 家事（掃除・洗濯・食事の支度・食事の後片付け等）は、どのように行うべきだと思いますか。（○は1つ）



家事について、全体では「男性、女性が分け合って行う」、「主に女性が行い、男性も一部手伝う」が共に43.0%となっています。

問5. あなたは、介護について、どのように行うべきだと思いますか。（○は1つ）



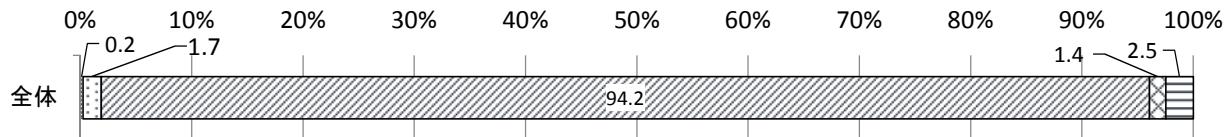
介護について、全体では、「家族と行政が半々で行うべき」が70.6%と一番高く、次いで「介護は家族が行うべき」が9.4%となっています。

男女別でも、「家族と行政が半々で行うべき」と答えた人が一番多くなっています。

問5－1．（問5で「1．介護は家族が行うべきである」「2．家族と行政が半々で行うべきである」と答えた方にお伺いします。家族の介護について、主にどなたが行うのがよいと考えますか。（○は1つ）

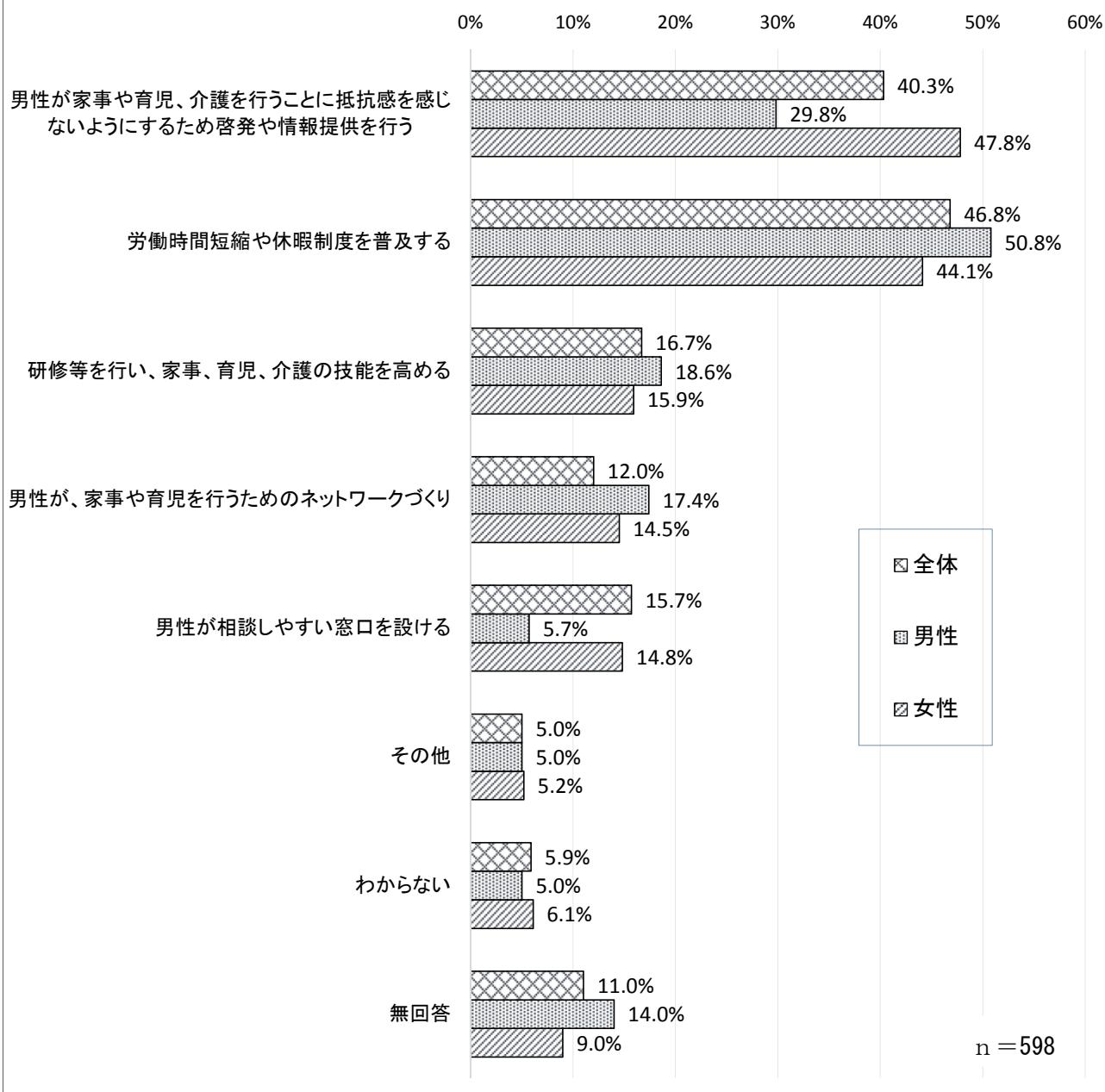
- 夫や息子など主に男性が行うのがよい      妻や娘など主に女性が行うのがよい  
性別にかかわらず、家族が協力して行うのがよい      その他  
無回答

n = 482



家族の介護は、誰が行うのがよいか聞いたところ、94.2%の人が、「性別にかかわらず、家族が協力して行うのがよい」と答えています。

問6．男性が家事や育児、介護に十分関われるようにするためには、どのようにすればよいと思いますか。(○は2つまで)

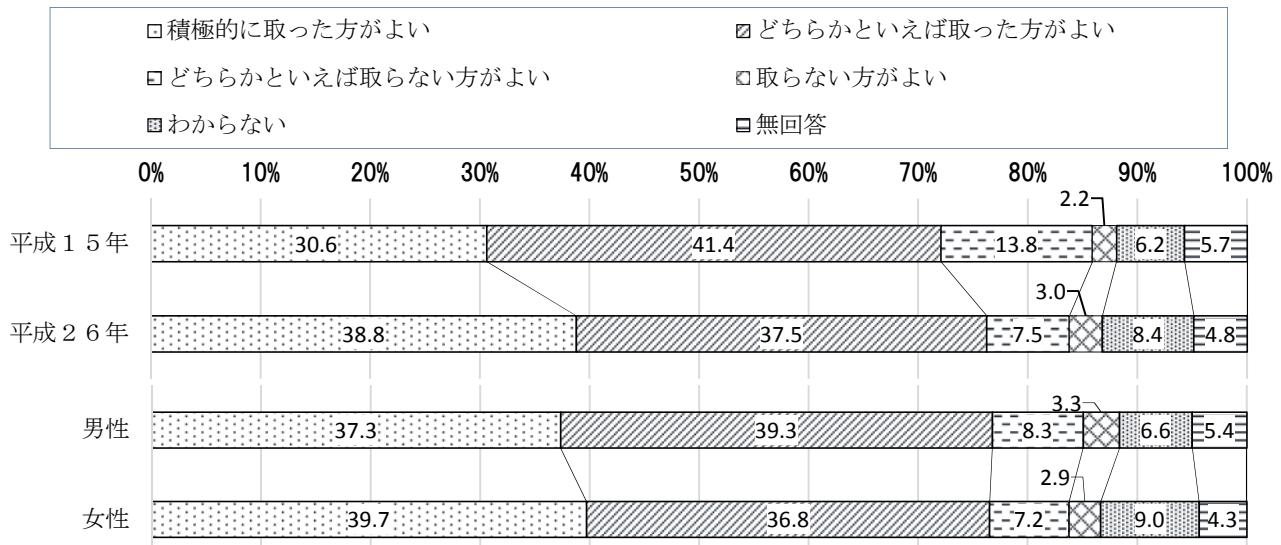


男性が家事や育児、介護に十分関われるようにするためには、どのようにすればよいと思うか聞いたところ、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする」が46.8%と一番多く、次いで「男性が家事や育児、介護を行うことに男性、女性ともに抵抗感を感じないようにするために啓発や情報提供を行う」が、40.3%となっています。

男女別に見ると、男性では、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする」が50.8%と一番高くなっていますが、女性では「男性が家事や育児、介護を行うことに男性、女性ともに抵抗感を感じないようにするために啓発や情報提供を行う」が、47.8%と一番高くなっています。

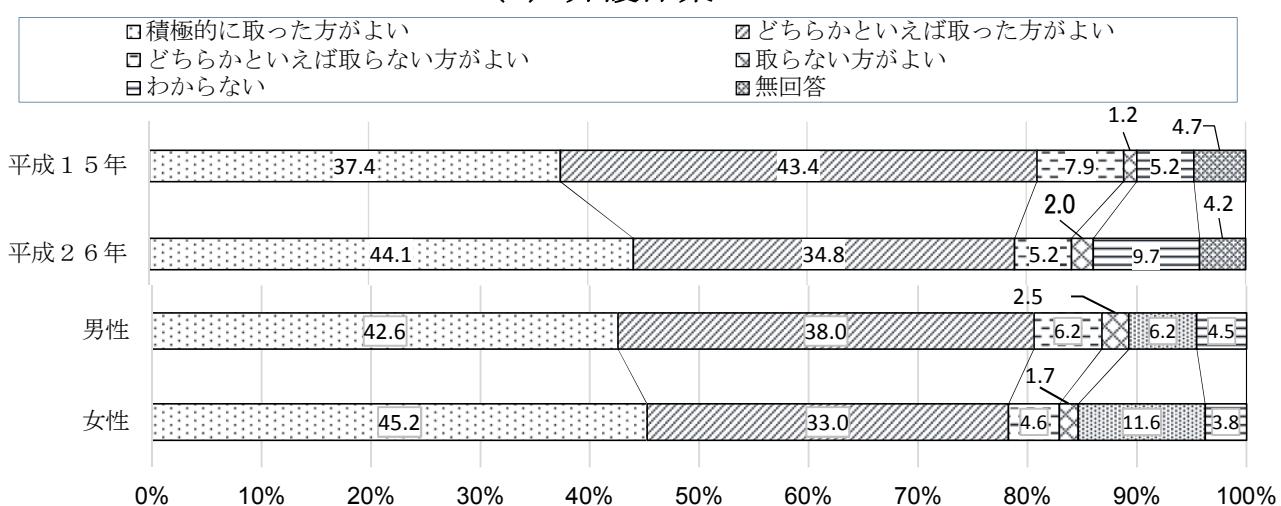
問7．育児や家族介護を行うために、育児休業や介護休業を取得できる制度があります。この制度を活用して、男性が育児休業や介護休業を取ることについて、あなたはどのように思いますか。（1）（2）それぞれ○は1つ。

### (1) 育児休業



育児休業については、「取った方がよい（積極的に取った方がよい+どちらかといえば取った方がよい）」とする人の割合が、76.3%となり、前回（平成15年）72.0%に比べ増加しています。

### (2) 介護休業



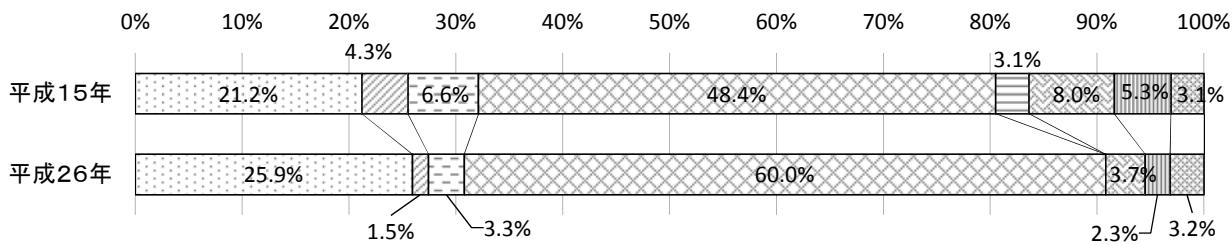
介護休業については、「積極的に取った方がよい」と答えた人の割合が44.1%で、前回（平成15年）37.4%に比べて増加しています。

### 3. 就労・職業について

問8. 女性に職業への関わり方について、あなたはどのような形がもっとも望ましいと思いますか。(○は1つ)

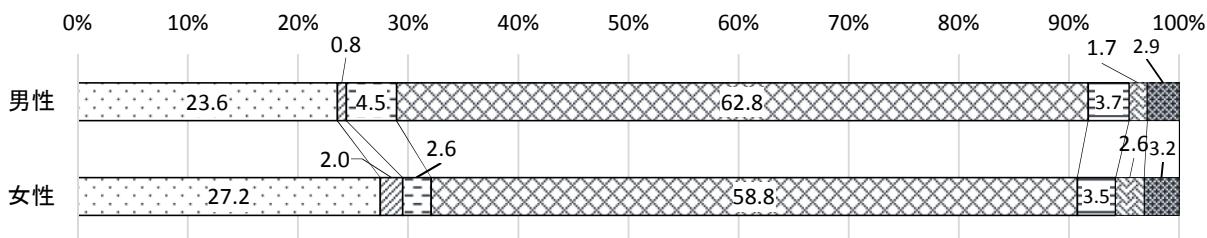
#### 全 体

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 職業を持ち続ける        | <input type="checkbox"/> 結婚するまでは職業を持つ       |
| <input type="checkbox"/> 子どもができるまでは職業を持つ | <input type="checkbox"/> 子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ |
| <input type="checkbox"/> 職業は一生持たない       | <input type="checkbox"/> その他                |
| <input type="checkbox"/> わからない           | <input type="checkbox"/> 無回答                |



#### 男女別

- |  |   |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> 職業を持ち続ける        | <input type="checkbox"/> 結婚するまでは職業を持つ       |
| <input type="checkbox"/> 子どもができるまでは職業を持つ | <input type="checkbox"/> 子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ |
| <input type="checkbox"/> その他             | <input type="checkbox"/> わからない              |
| <input type="checkbox"/> 無回答             |   |



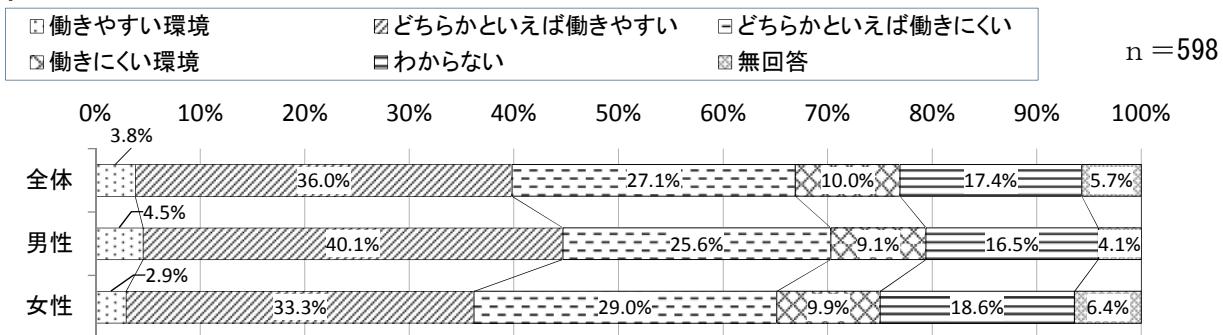
女性が職業を持つことについては、「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」が、60.0%を占め一番高く、前回（平成15年）と比較すると、48.4%→60.0%と大幅に増えています。次いで「結婚や子どもの有無にかかわらず、職業を持ち続ける」が25.9%で、前回（平成15年）と比較すると4.7%増加しています。

性別でも、男女共に「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ」と答えた人の割合が、一番高くなっています。

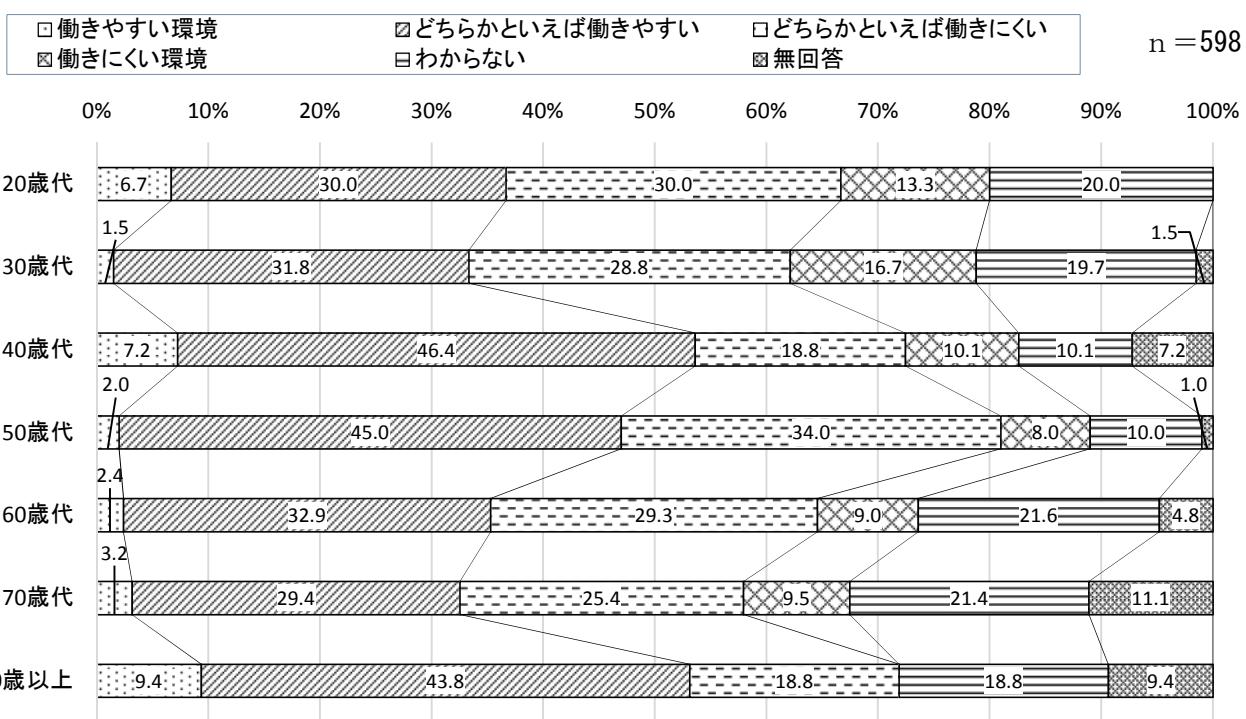
問9. 働きたいと思う女性にとって、現在は、働きやすい環境であると思いますか。

(○は1つ)

### 全体



### 年代別



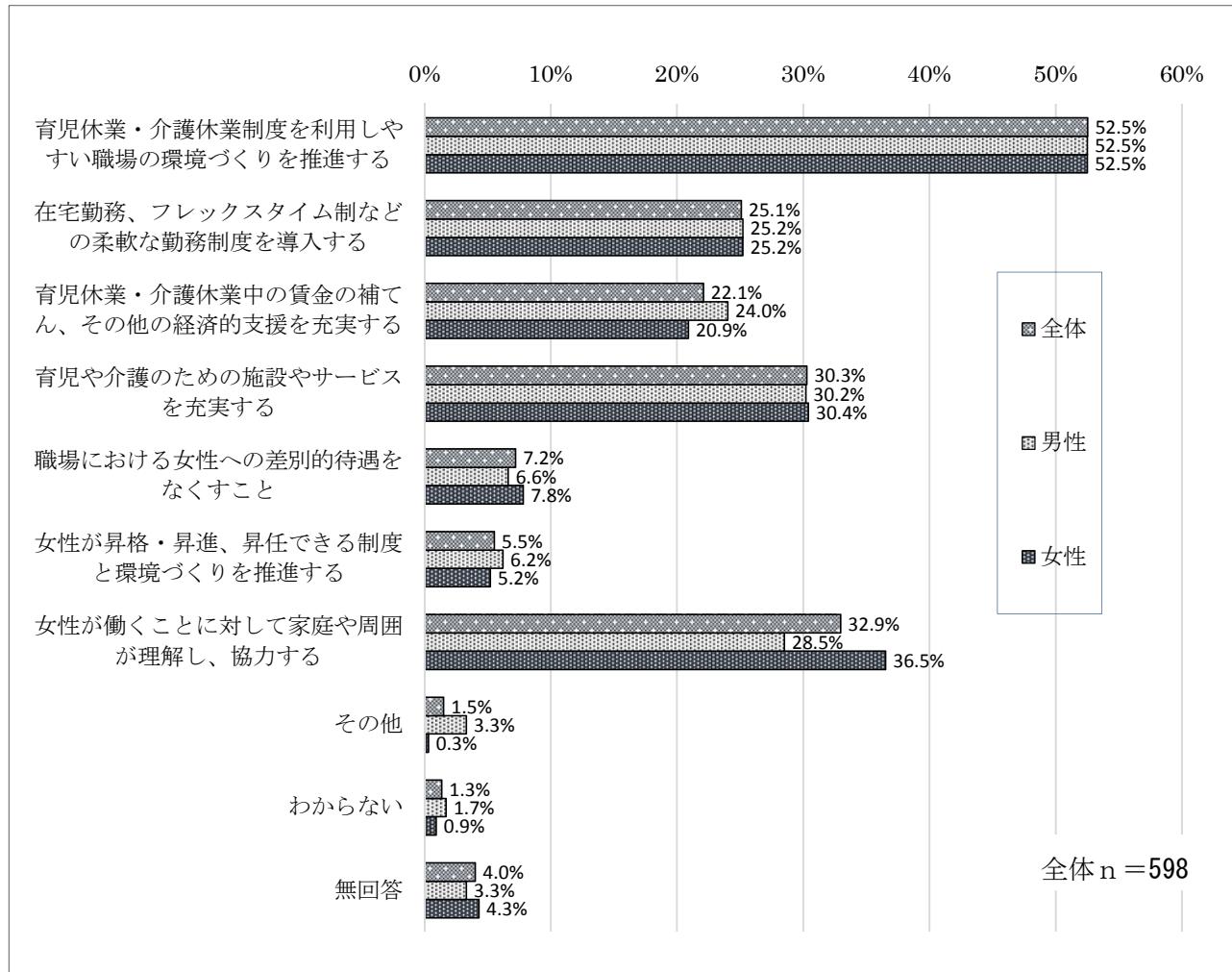
女性が働きやすい環境であるかについて、全体では、「どちらかといえば働きやすい環境であると思う」と回答した人の割合が36.0%と一番高く、次いで「どちらかといえば働きにくい環境である」が、27.1%となっています。

男女別では、男性で「働きやすい環境である」「どちらかといえば働きやすい環境であると思う」と回答した人の割合が44.6%と高くなっていますが、女性では、「働きにくい環境である」「どちらかといえば働きにくい環境である」と回答した人の割合の方が、38.9%と高くなっています。

年代別に見ると、「働きやすい（働きやすい+どちらかといえば働きやすい）」と回答した人の割合が、40歳代で一番高く、53.6%となっています。次いで80歳代53.2%、50歳代47.0%となっています。

一方、「働きにくい（働きにくい+どちらかといえば働きにくい）」と回答した人の割合が、30歳代で一番高く、45.5%となっています。次いで、20歳代43.3%、50歳代42.0%となっています。

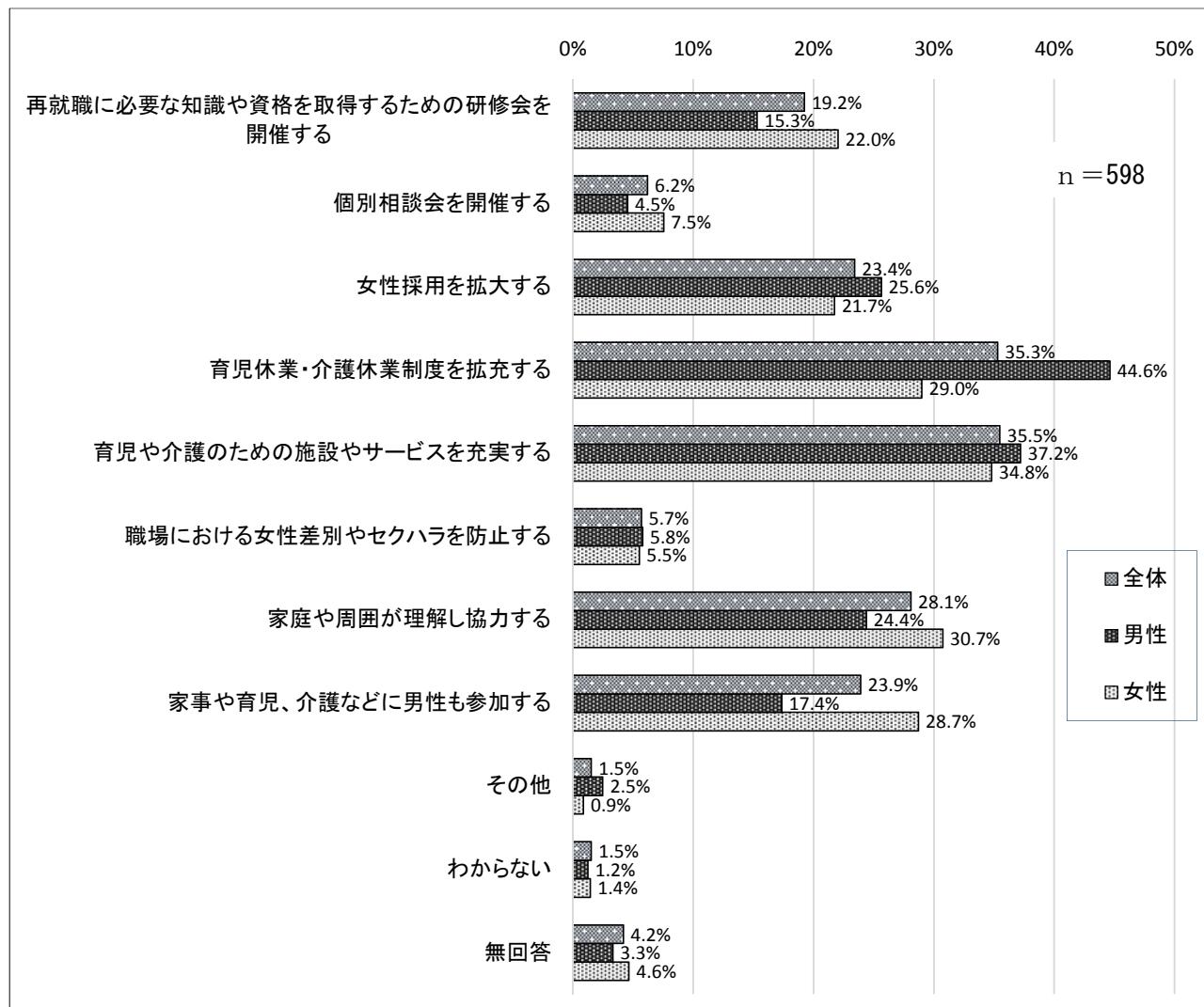
問10. 女性が、出産、子育て、介護などの理由で仕事を辞めずに働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。（○は2つまで）



女性が仕事を辞めずに働き続けるには、どのようなことが必要かと聞いたところ、「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場の環境づくりを推進する」と回答した割合が、52.5%と一番高く、次いで「女性が働くことに対して家庭や周囲が理解し、協力する」が32.9%となっています。

男女別で見ると、男女とも「育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場の環境づくりを推進する」が一番高く、男女共52.5%でしたが、「女性が働くことに対して家庭や周囲が理解し、協力する」と回答した人の割合については、男性が28.5%、女性が36.5%と大きく開きがあります。

問11．出産、子育て、介護などの理由で退職した女性が再就職するためには、どのようなことが必要だと思いますか。(○は2つ)

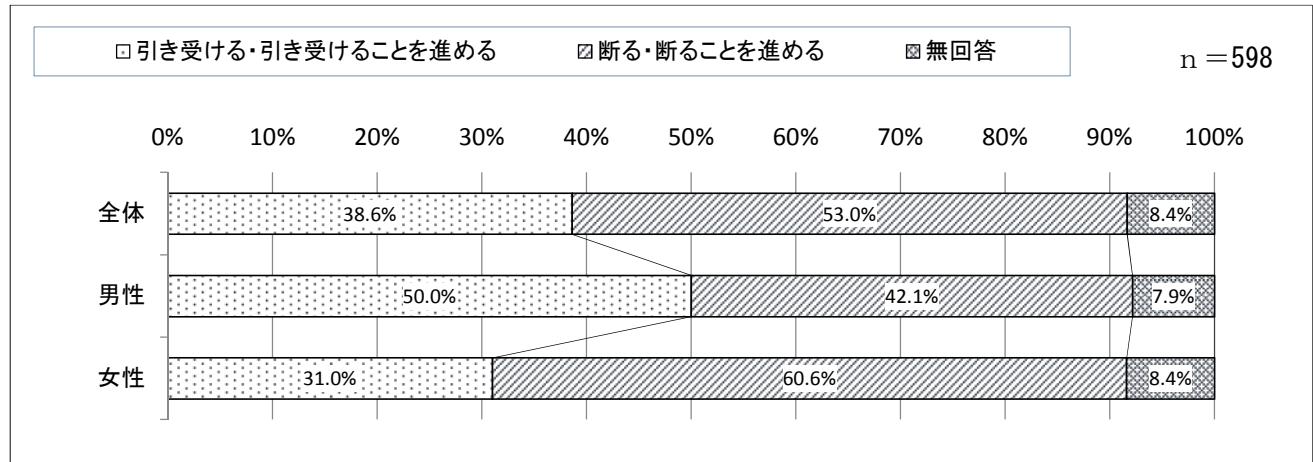


女性が再就職するためには、どのようなことが必要だと思うか聞いたところ、「育児や介護のための施設やサービスを充実する」が35.5%で一番高く、次いで「育児休業・介護休業制度を充実する」が35.3%となっています。

男女別で比較すると、男性は、「育児休業・介護休業制度を充実する」が44.6%で一番高くなっていますが、女性では、「育児や介護のための施設やサービスを充実する」が34.8%で一番高くなっています。

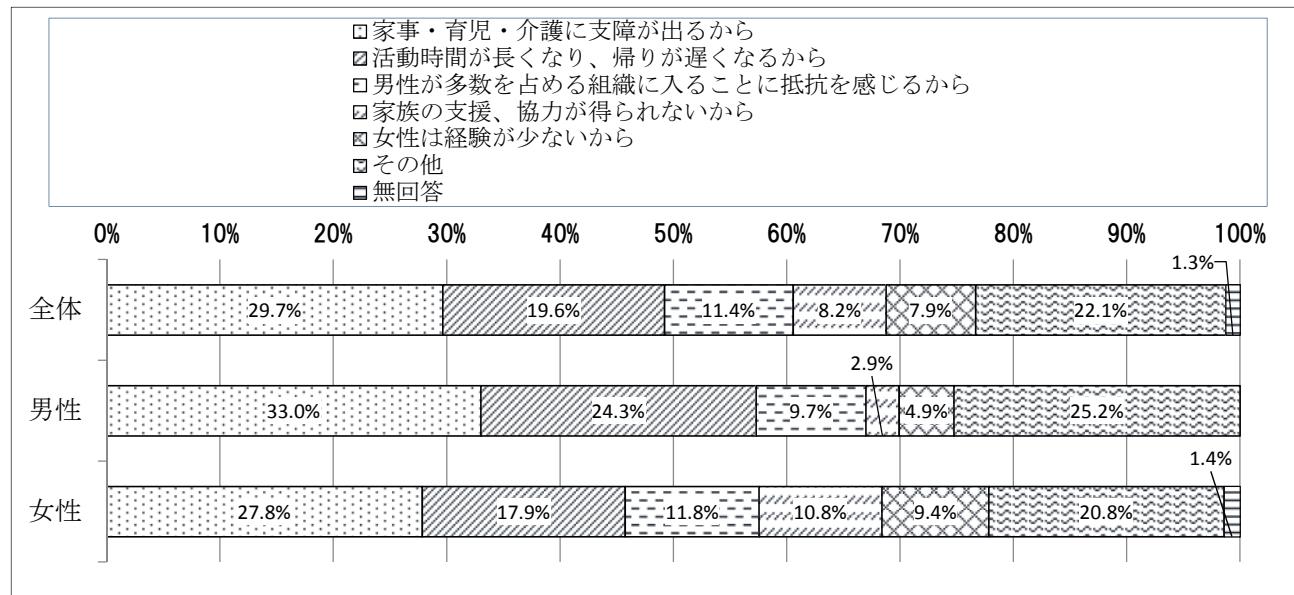
#### 4. 女性の社会参画について

問12. 地域づくり組織、自治会長やPTA会長などの役職に、女性の方はあなた自身が、男性の方はあなたの妻などの身近な女性が推薦されたとしたら、あなたはどうしますか。  
(○は1つ)



女性の社会参画について聞いたところ、「断る・断ることをすすめる」と答えた人が53.0%と半数以上を占めています。男女別に見ると、男性では、50.0%の人が、「引き受ける・引き受けることをすすめる」と回答していますが、女性では、「断る・断ることをすすめる」が60.6%となっており、男女で異なっています。

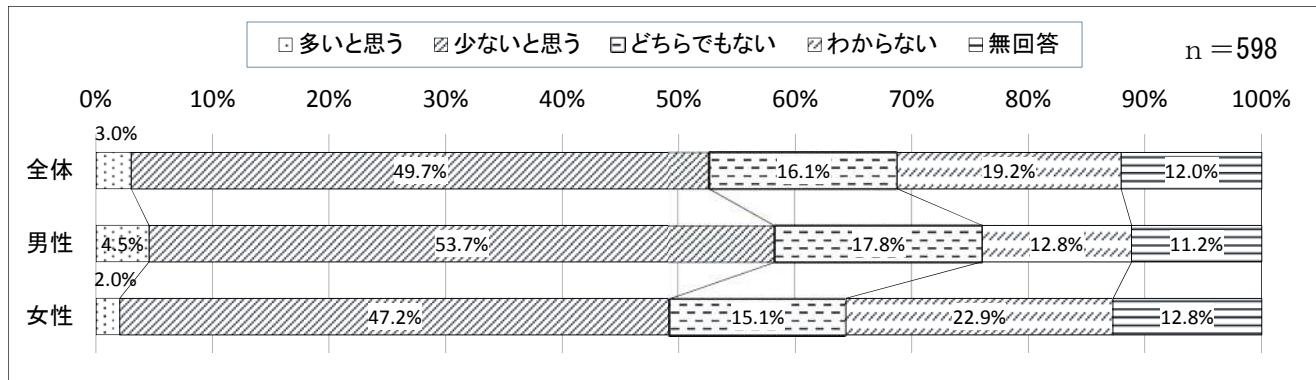
問13. (問12で「断る・断ることをすすめる」と答えた方にお聞きします。) その理由は、何ですか。(○は1つ)



「断る・断ることをすすめる」と答えた人に理由を聞くと、全体では、「家事・育児・介護に支障が出るから」が、29.7%と一番高く、次いで「その他」22.1%となっています。

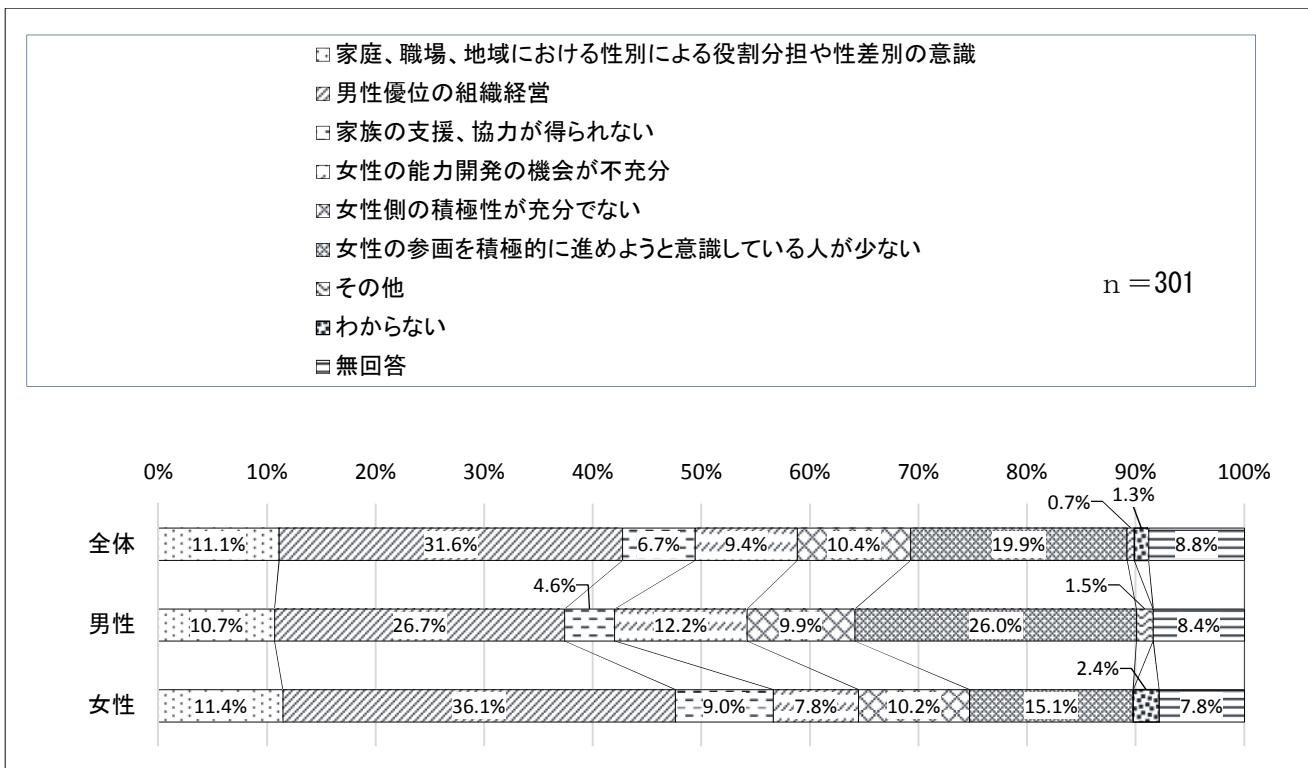
男女別では、「家事・育児・介護に支障が出るから」、「女性は経験が少ないから」と答えた人の割合は、男性の方が高くなっています。

問14. あなたは、政治・行政・事業所や地域において、政策等の方針決定の場への女性の参画についてどのように思われますか。（○は1つ）



政治・行政・事業所や地域において、政策等の方針決定の場への女性の参画についてどう思うかについて聞いたところ、「少ないと思う」が 49.7%で、次いで「わからない」が 19.2%となりました。男女別では、「わからない」と答えた人の割合が、男性より女性の方が高くなっています。

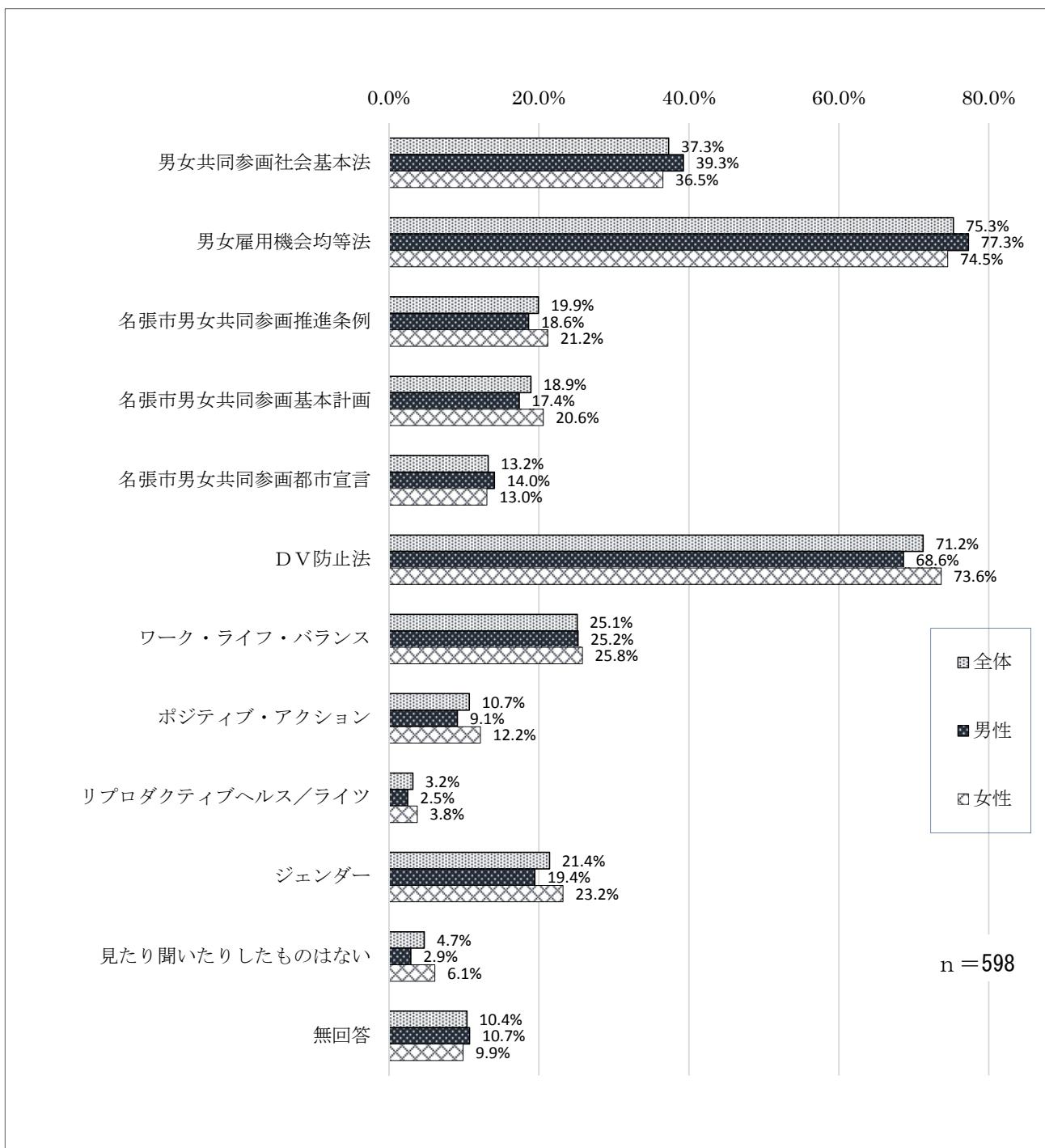
問15.（問14. で「2. 少ないと思う」と答えた方にお伺いします。女性の参画が少ない理由は何だと思いますか。（○は1つ）



女性の参画が少ない理由を聞いたところ、全体では、「男性優位の組織経営」が 31.6%と一番高く、次いで「女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない」が 19.9%となっています。

男女別で見ると、男性は「男性優位の組織経営」が 26.7%ですが、女性は 36.1%と男性に比べ高くなっています。

問16．以下の言葉のうち、見たり聞いたりしたことがあるものすべてに○をつけてください。



男女共同参画に関する用語の認知度については、「男女雇用機会均等法」が、75.3%と一番高く、次いで「DV防止法」が、71.2%となっています。

前回（平成15年）の調査では、「見たり聞いたりしたものはない」「無回答」と回答した人の割合は、50.0%でしたが、今回の調査で「見たり聞いたりしたものはない」「無回答」と回答した人の割合は15.1%と男女共同参画に関する認知度は、大きく増加していることが伺えます。

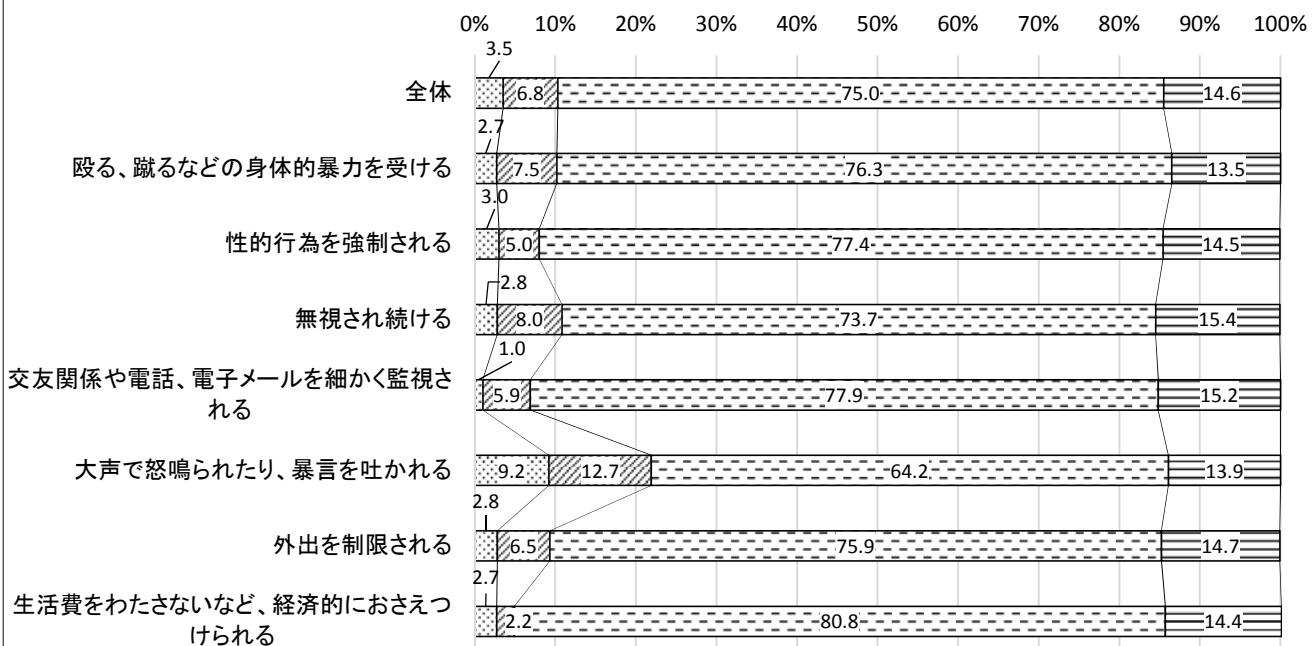
## 5. 男女の人権について

問17. あなたはこれまでに、配偶者や恋人から、次のようなことをされた経験がありますか。

### 平成26年DVの現状

n = 598

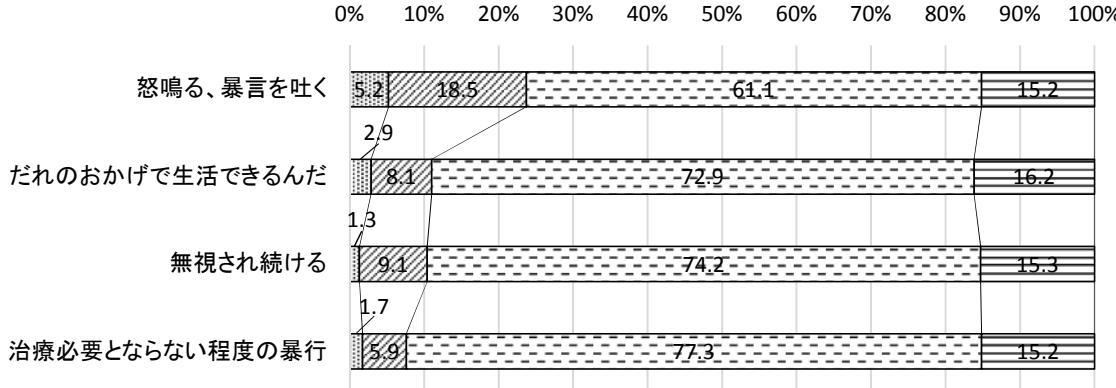
何度もあった 1、2度あった まったくない 無回答



### 平成15年DVの現状

n = 594

何度もあった 1、2度あった まったくない 無回答

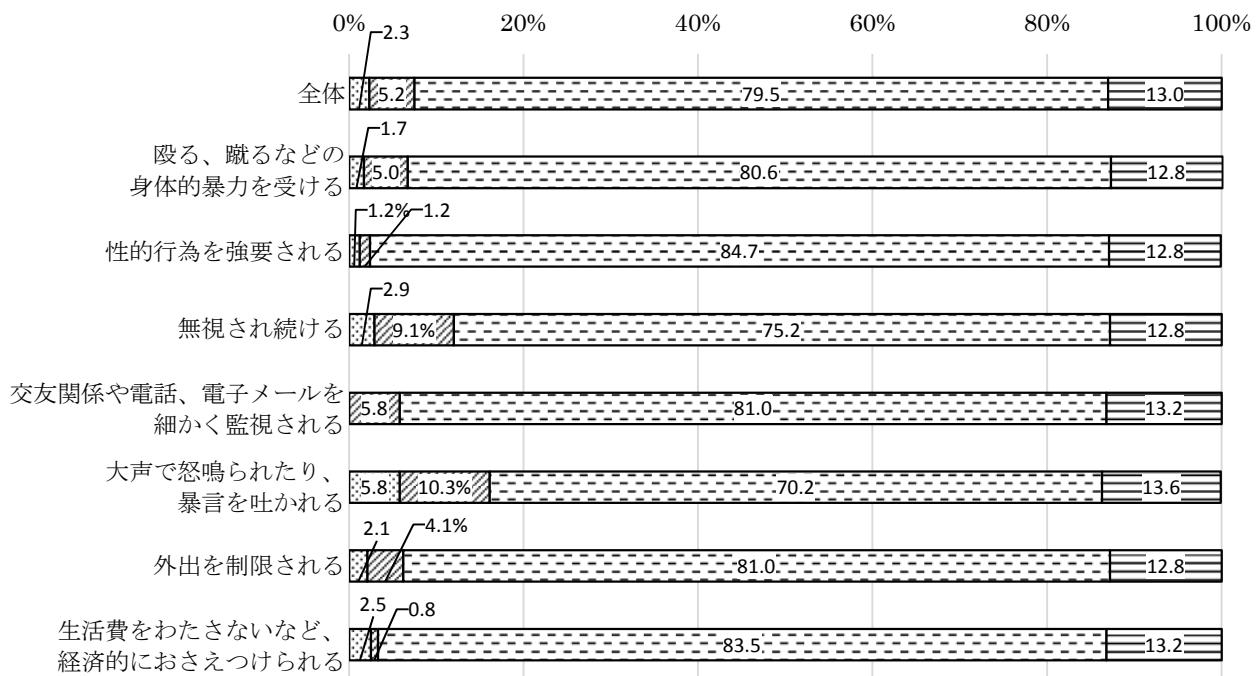


配偶者や交際相手からDVを受けたことがあると回答した人（何度もあった+1、2度あった）の割合は、10.3%となっています。

前回の調査（平成15年）と比較すると、全てにおいて（何度もあった+1、2度あった）と回答した人の割合は、減少しています。

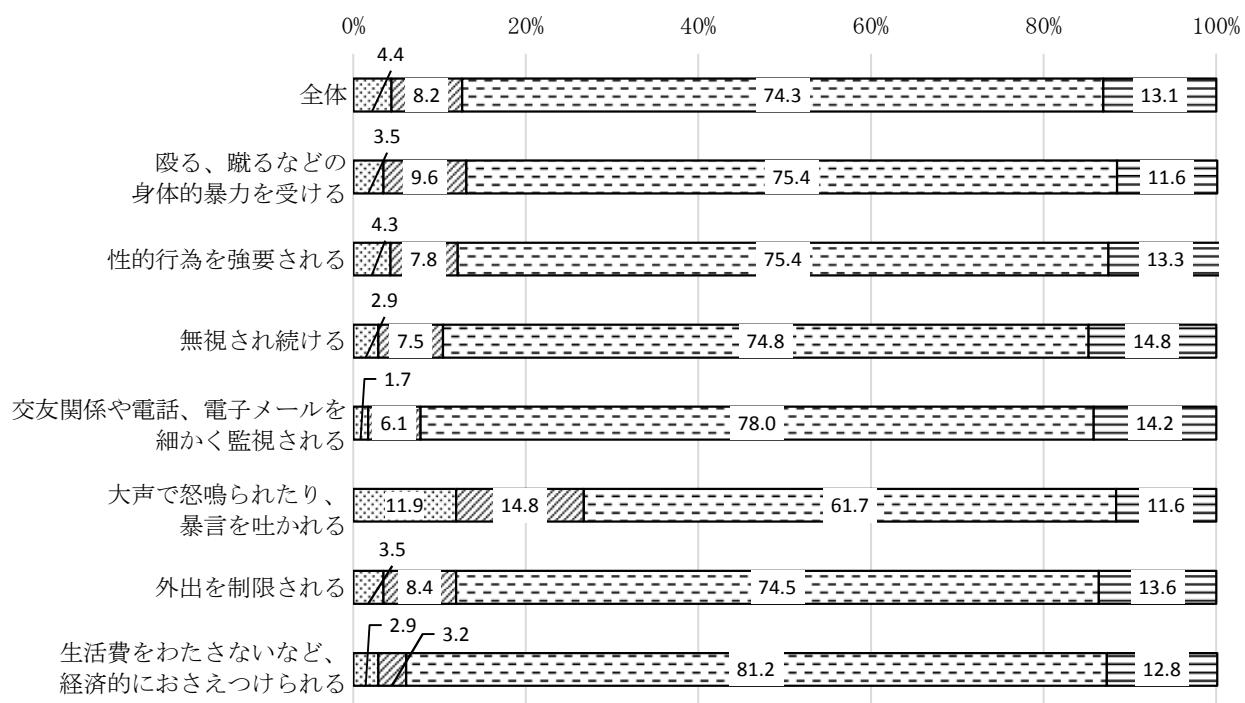
## 男性

■何度もあった □1、2度あった ▨まったくない □無回答



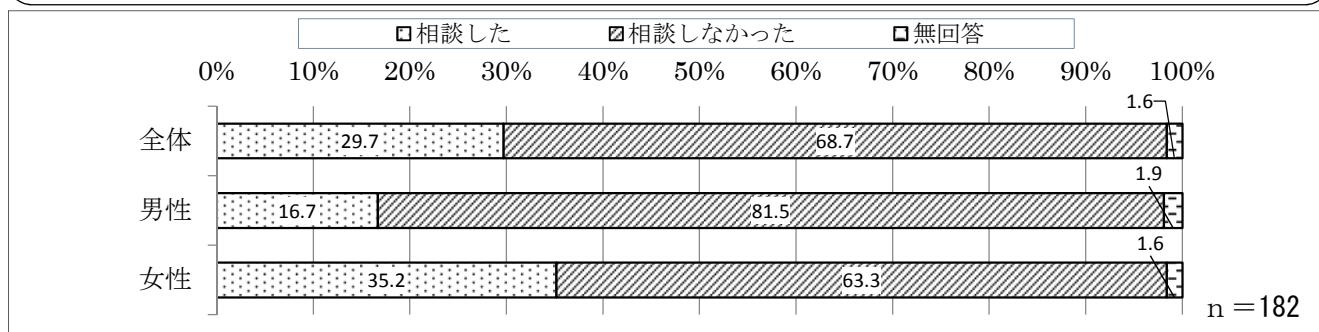
## 女性

■何度もあった □1、2度あった ▨まったくない □無回答



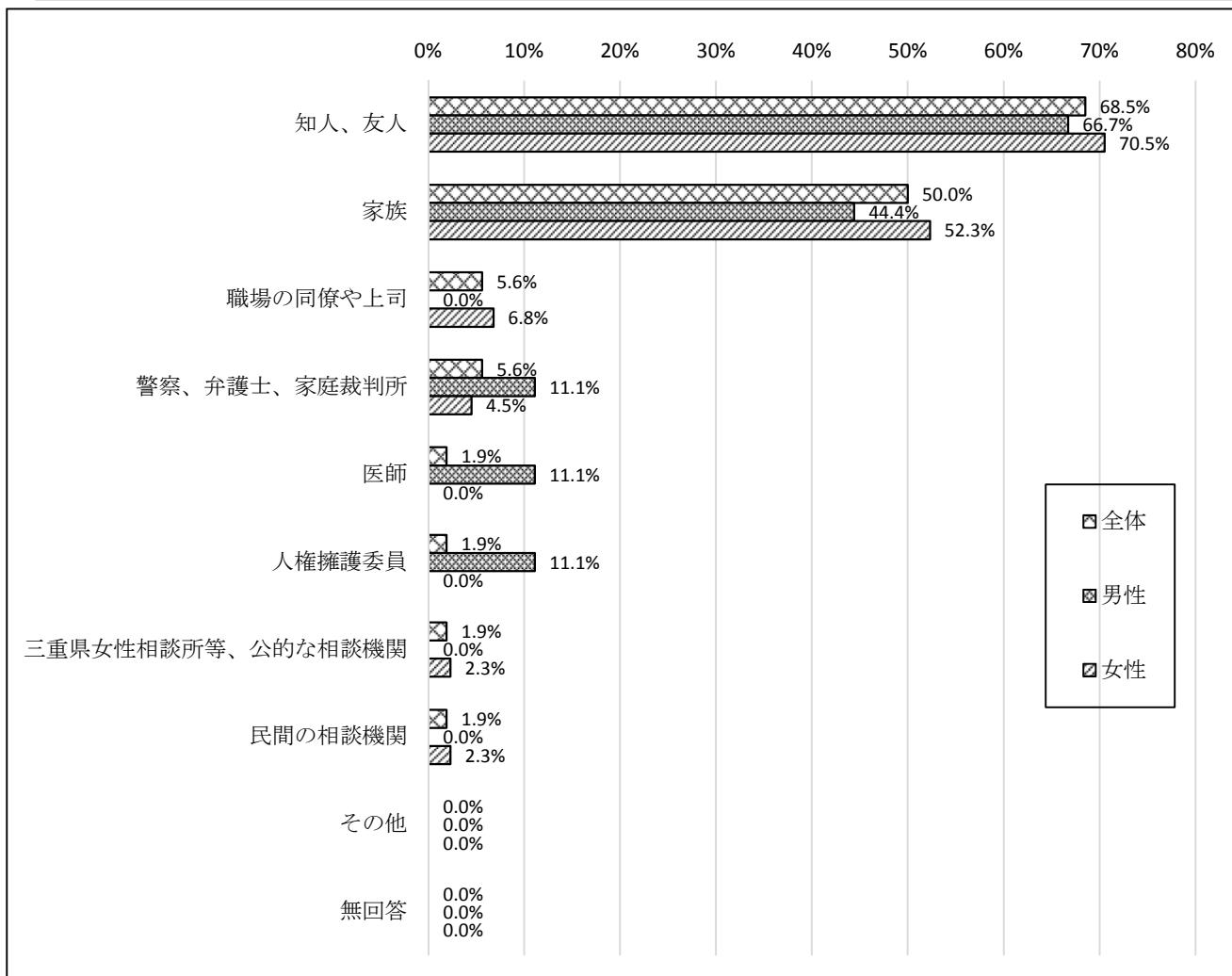
また、性別で見てみると、配偶者や交際相手からDVを受けたことがあると回答した（何度もあった+1、2度あった）男性は7.5%、女性は12.6%となっています。

問18. (問17で1つでも「1. 何度もあった」、「2. 1、2度あった」と答えた方にお伺いします。あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。  
(○は1つ)



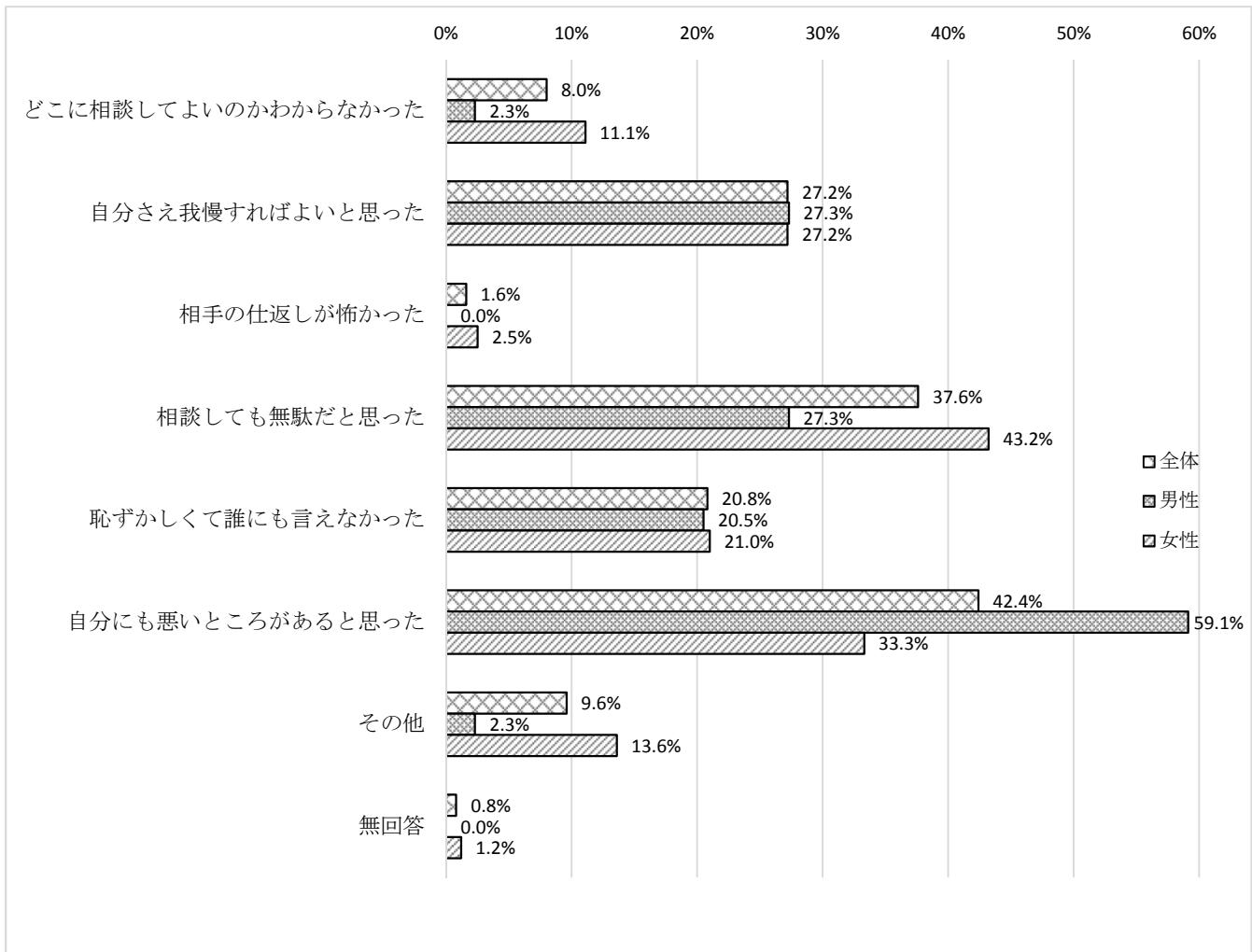
誰かに打ち明けたり、相談したりしたかと聞いたところ、「相談しなかった」が、68.7%と一番高くなっています。また、男女別にみると男性の81.5%、女性の63.3%が相談しなかつたと回答しています。

問18-1. (問18で「1. 相談した」と答えた方にお伺いします。) 相談したのはどちらですか。(あてはまるものすべてに○)



相談先については、「知人、友人」が、68.5%と一番高く、次いで「家族」が50.0%となっています。また、男女別にみても、男性、女性ともに「知人・友人」、「家族」の順となってています。

問18－2.（問18で「2. 相談しなかった」と答えた方にお伺いします。相談しなかつた理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

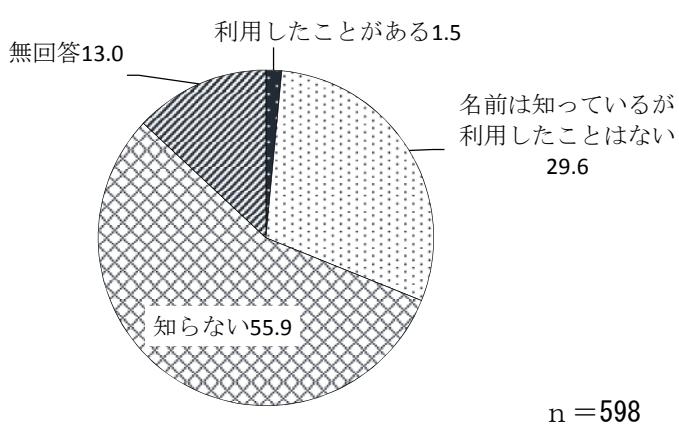


「相談しなかった」と答えた方にその理由を聞いたところ「自分にも悪いところがあると思った」が、28.6%と一番高く、次いで「相談しても無駄だと思った」が25.4%となっています。

男女別では、男性は「自分にも悪いところがあると思った」が59.1%と最も高く、女性においては「相談しても無駄だと思った」が43.2%と最も高くなっています。

## 6. 「名張市男女参画センター」について

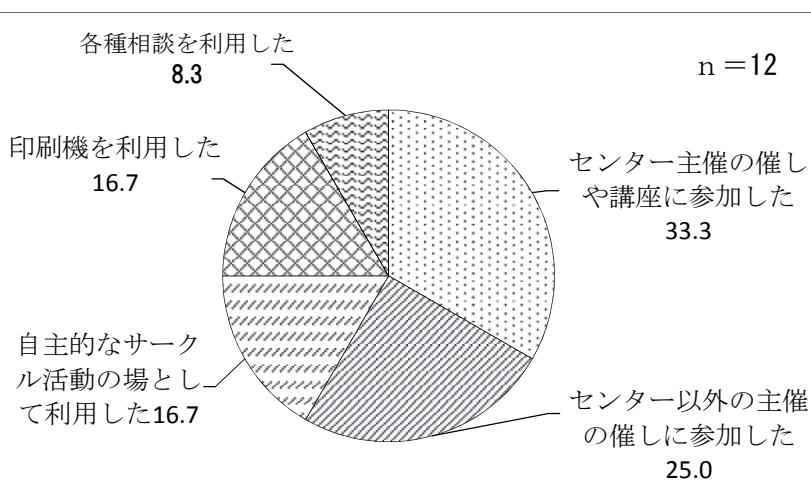
問19. あなたは、「名張市男女共同参画センター」をご存知ですか。



男女共同参画センターについて聞いたところ、「知らない」が 55.9%と最も多く、次いで「名前は知っているが利用したことがない」が 29.6%となっています。

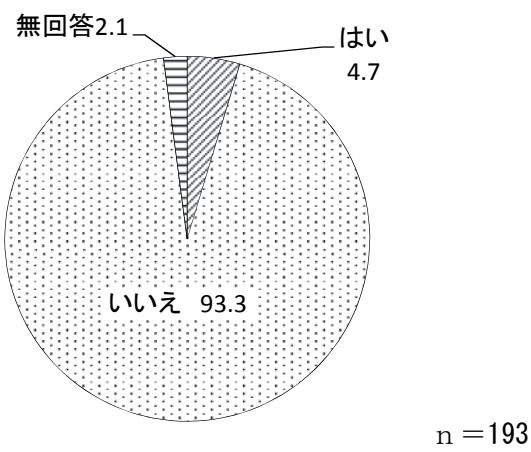
問20. (問19で「1. 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。あなたはどのようななかたちで「名張市男女共同参画センター」を利用しましたか。

(あてはまるものすべてに○)



「センター主催の催し物や講座に参加した」が 33.3%と一番高く、次いで「センター以外の主催の催し物に参加した」が 25.0%となっています。

問21. あなたは「名張市男女共同参画センター」のホームページをご覧になったことがありますか。(○は1つ)



名張市男女共同参画センターを知っている人にホームページを見たことがあるか聞いたところ、93.3%の人が、「いいえ」と答えています。

## IV 資料

### 男女共同参画に関する市民意識調査

#### 調査ご協力のお願い

日頃から、市行政に格別のご理解ご協力をいただき、ありがとうございます。

名張市では、平成19年3月に「名張市男女共同参画基本計画」を策定し、すべての人が互いの人権を尊重しつつ、喜びも責任も分かれ合い、性別にかかわりなく、その個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画社会の実現に向けて様々な取り組みを行ってきました。このたび、現在の基本計画期間が終了することから、次期計画策定に向けての基礎資料として活用するため、本調査を実施させていただきます。

この調査は、市内在住の満20歳以上の男女1500人を対象に無作為に選び、ご協力をお願いしています。

今回の調査で得られた結果は、すべて統計的に処理し、調査の目的以外には使用しませんので、皆様にご迷惑がかかることは一切ございません。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、このアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成26年10月

名張市長 龜井 利克

#### 【ご記入に際してのお願い】

1. アンケートには、封筒のあて名の方ご本人がご回答ください。ご本人が何らかの理由で、記入いただけない場合は、代理の方がご本人の回答を記入くださいますようお願いします。
2. 回答は、当てはまる番号に○印を付け、必要なところには、数字や言葉を記入してください。
3. ○印が、その他の場合は、( ) 内に詳しく記入してください。
4. 記入後は、無記名のまま、同封の返送用封筒に入れて、10月31日(金)までにポストへお入れください。(切手は不要です)
5. この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。
6. この調査の全体または一部に答えたくない場合は、無理にお答えいただかないで構いません。

名張市 生活環境部 人権・男女共同参画推進室

〒518-0492 名張市鴻之台1-1

TEL 0595-63-7559

FAX 0595-64-2560

## 1 男女平等意識について

問1. あなたは「男女共同参画（※）」という言葉を知っていましたか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- 1. 知っていた
- 2. 聞いたことがあったが内容は知らなかった
- 3. 知らなかった

(※) 男女共同参画：男女が社会の対等な構成員として、自らの意思によって社会のあらゆる分野における活動に参画する機会が確保され、もって男女が均等に政治的、経済的、社会的及び文化的利益を享受することができ、かつ、共に責任を担うことをいいます。また、このような社会を「男女共同参画社会」といいます。

問2. あなたは、次にあげるA～Hの分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。A～Hのそれについて1つずつ選んで○印をつけてください。

	遇男 され の方 いが る非 常に 優	優性 遇の どち 方ら れが か て い る	平 等 で ある	優性 遇の どち 方ら れが か て い る	遇女 され の方 いが る非 常に 優	わ か ら な い
A 家庭のなかで	1	2	3	4	5	6
B 職場のなかで	1	2	3	4	5	6
C 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
D 自治会やN P Oなど の地域活動の場で	1	2	3	4	5	6
E 社会通念や習慣、しき たりなどで	1	2	3	4	5	6
F 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
G 政治(政策決定)の場で	1	2	3	4	5	6
H 社会全体で	1	2	3	4	5	6

## 2 家庭生活について

問3. あなたの家庭では、次にあげる家事を、主に誰がしていますか。A～Gのそれについて1つずつ選んで○印をつけてください。

	夫	妻	子ども	家族全員	その他	わからない
A 掃除	1	2	3	4	5	6
B 洗濯	1	2	3	4	5	6
C 食事のしたく	1	2	3	4	5	6
D 食事の後片付け、食器洗い	1	2	3	4	5	6
E ゴミ捨て	1	2	3	4	5	6
F 子どもの世話、しつけや教育 (中学生以下の子どものいる家庭のみお答え下さい)	1	2	3	4	5	6
G 親の世話、介護 (日常的に親の世話をしている家庭のみお答え下さい)	1	2	3	4	5	6

問4. 家事（掃除・洗濯・食事の支度・食事の後片付け等）は、どのように行うべきだと思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 主に男性が行う
2. 主に男性が行い、女性も一部手伝う
3. 男性、女性が分け合って行う
4. 主に女性が行い、男性も一部手伝う
5. 主に女性が行う
6. その他 ( )

問5. あなたは、介護について、どのように行うべきだと思いますか。  
次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 介護は、家族が行うべきである →問5-1へ
2. 家族と行政が半々で行うべきである →問5-1へ
3. ホームヘルパーや施設サービスなどを充実させ、すべて行政が行うべきである →問6へ
4. その他 ( ) →問6へ
5. わからない →問6へ

問5－1. (問5で「1. 介護は家族が行うべきである」「2. 家族と行政が半々で行うべきである」と答えた方にお伺いします。家族の介護について、主にどなたが行うのがよいと考えますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- 1. 夫や息子など主に男性が行うのがよい
- 2. 妻や娘など主に女性が行うのがよい
- 3. 性別にかかわらず、家族が協力して行うのがよい
- 4. その他 ( )

問6. 男性が家事や育児、介護に充分関わるようにするためには、どのようにすればよいと思いますか。次の中から2つまで選んで○印をつけてください。

- 1. 男性が家事や育児、介護を行うことに、男性、女性ともに抵抗感を感じないようにするため啓発や情報提供を行う
- 2. 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにする
- 3. 研修等を行い、男性の家事や育児、介護の技能を高める
- 4. 男性が、家事や育児を行うための仲間（ネットワーク）づくりを進める
- 5. 家庭と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設ける
- 6. その他（具体的に：）
- 7. わからない

問7. 育児や家族介護を行うために、育児休業や介護休業を取得できる制度があります。この制度を活用して、男性が育児休業や介護休業を取ることについて、あなたはどのように思いますか。(1)、(2)のそれについて、次の中から1つ選んで○印をつけてください。

#### (1) 育児休業

- 1. 積極的に取った方がよい
- 2. どちらかといえば取った方がよい
- 3. どちらかといえば取らない方がよい
- 4. 取らない方がよい
- 5. わからない

#### (2) 介護休業

- 1. 積極的に取った方がよい
- 2. どちらかといえば取った方がよい
- 3. どちらかといえば取らない方がよい
- 4. 取らない方がよい
- 5. わからない

### 3 就労・職業について

問8. 女性の職業への関わり方について、あなたはどのような形がもっとも望ましいと思いますか。

次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 結婚や子どもの有無にかかわらず、職業を持ち続ける
2. 結婚するまでは職業を持つが、その後は持たない
3. 結婚して子どもができるまでは職業を持つが、その後は持たない
4. 結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業を持つ
5. 職業は一生持たない
6. その他（具体的に：）
7. わからない

問9. 働きたいと思う女性にとって、現在は、働きやすい環境であると思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 働きやすい環境である
2. どちらかといえば働きやすい環境であると思う
3. どちらかといえば働きにくい環境であると思う（理由：）
4. 働きにくい環境である（理由：）
5. わからない

問10. 女性が、出産、子育て、介護などの理由で仕事を辞めずに働き続けるためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つまで選んで○印をつけてください。

1. 育児休業・介護休業制度を利用しやすい職場の環境づくりを推進する
2. 在宅勤務、フレックスタイム制（自由勤務時間性）などの柔軟な勤務制度を導入する
3. 育児休業・介護休業中の賃金の補てん、その他の経済的支援を充実する
4. 育児や介護のための施設やサービスを充実する
5. 職場における女性への差別的待遇をなくすこと
6. 女性が昇格・昇進・昇任できる制度と環境づくりを推進する
7. 女性が働くことに対して家族や周囲が理解し、協力する
8. その他（具体的に：）
9. わからない

問11. 出産、子育て、介護などの理由で退職した女性が再就職するためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から2つ選んで○印をつけてください。

1. 再就職に必要な知識や資格を習得するための研修会を開催する
2. 個別相談会を開催する
3. 女性採用を拡大する
4. 育児休業・介護休業制度を拡充する
5. 育児や介護のための施設やサービスを充実する
6. 職場における女性差別やセクハラを防止する
7. 家族や周囲が理解し協力する
8. 家事や育児、介護などに男性も参加する
9. その他（具体的に：）
10. わからない

#### 4 女性の社会参画について

問12. 地域づくり組織、自治会長やPTA会長などの役職に、女性の方はあなた自身が、男性の方はあなたの妻などの身近な女性が推薦されたとしたら、あなたはどうしますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- 1. 引き受ける・引き受けることをすすめる →問14へ
- 2. 断る・断ることをすすめる →問13へ

問13. (問12で「2. 断る・断ることをすすめる」と答えた方にお聞きします。)

その理由は何ですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- 1. 家事・育児・介護に支障が出るから
- 2. 活動時間が長くなり、帰りが遅くなるから
- 3. 男性が多数を占める組織に入ることに抵抗を感じるから
- 4. 家族の支援、協力が得られないから
- 5. 女性は経験が少ないから
- 6. その他（具体的に：）

問14. あなたは、政治・行政・事業所や地域において、政策等の方針決定の場への女性の参画についてどのように思われますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- 1. 多いと思う →問16へ
- 2. 少ないと思う →問15へ
- 3. どちらでもない →問16へ
- 4. わからない →問16へ

問15. (問14で「2. 少ないと思う」と答えた方にお伺いします。) あなたは、政治・行政・事業所や地域において、政策等の方針決定の場への女性の参画が少ない理由は何だと思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- 1. 家庭、職場、地域における性別による役割分担や性差別の意識
- 2. 男性優位の組織経営
- 3. 家族の支援・協力が得られない
- 4. 女性の能力開発の機会が不十分
- 5. 女性側の積極性が充分でない
- 6. 女性の参画を積極的にすすめようと意識している人が少ない
- 7. その他（具体的に：）
- 8. わからない

問16. 以下の言葉のうち、見たり聞いたりしたことがあるものすべてに○印をつけてください。

1. 男女共同参画社会基本法
2. 男女雇用機会均等法
3. 名張市男女共同参画推進条例
4. 名張市男女共同参画基本計画
5. 名張市男女共同参画都市宣言
6. DV防止法（正式名：配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律）
7. ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）
8. ポジティブ・アクション（積極的改善措置）
9. リプロダクティブヘルス／ライツ（性と生殖に関する女性の健康・権利）
10. ジェンダー（文化的・社会的につくられた性別）
11. 見たり聞いたりしたものはない

## 5 男女の人権について

問17. あなたはこれまでに、配偶者や恋人から、次のようなことをされた経験がありますか。A～Gのそれについて1つずつ選んで○印をつけてください。

	何度もあつた	1、2度あつた	まったくない
A 殴る、蹴るなどの身体的暴力を受ける	1	2	3
B 性的行為を強制される	1	2	3
C 無視され続ける	1	2	3
D 交友関係や電話、電子メールを細かく監視される	1	2	3
E 大声で怒鳴られたり、暴言を吐かれる	1	2	3
F 外出を制限される	1	2	3
G 生活費をわたさないなど、経済的におさえつけられる	1	2	3

問18. (問17で1つでも「1. 何度もあつた」、「2. 1、2度あつた」と答えた方にお伺いします。) あなたは、そのことを誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 相談した →問18-1へ
2. 相談しなかった →問18-2へ

問18-1. (問18で「1. 相談した」と答えた方にお伺いします。) 相談したのはどちらですか。あてはまるものすべてに○印をお願いします。

1. 友人、知人
2. 家族
3. 職場の同僚や上司
4. 警察、弁護士、家庭裁判所
5. 医師
6. 人権擁護委員
7. 三重県女性相談所等、公的な相談機関
8. 民間の相談機関
9. その他（具体的に：）

問18-2. (問18で「2. 相談しなかった」と答えた方にお伺いします。) 相談しなかった理由はなんですか。あてはまるものすべてに○印をお願いします。

- 1. どこに相談してよいのかわからなかった
- 2. 自分さえ我慢すればよいと思った
- 3. 相手の仕返しが怖かった
- 4. 相談しても無駄だと思った
- 5. 恥ずかしくて誰にも言えなかつた
- 6. 自分にも悪いところがあると思った
- 7. その他 ( )

DVかな?と思ったら、一人で悩まず下記相談窓口にご相談ください。

秘密は厳守、無料です。

女性相談室 0595-63-2517 (月～金 8:30～17:00)

男性のための相談 0595-63-5336 (毎月第2木曜日 19:00～21:00)

## 6 「名張市男女共同参画センター」について

問19. あなたは、「名張市男女共同参画センター」をご存知ですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- 1. 利用したことがある →問20へ
- 2. 名前は知っているが利用したことはない →問21へ
- 3. 知らない →問22へ

問20. (問19で「1. 利用したことがある」と答えた方にお聞きします。)

あなたはどのようなかたちで「名張市男女共同参画センター」を利用しましたか。次の中からあてはまるものすべてに○印をつけてください。

- 1. センター主催の催し物や講座に参加した
- 2. センター以外の主催の催し物に参加した
- 3. 自主的なサークル活動の場として利用した
- 4. 印刷機を利用した
- 5. 図書コーナーを利用した
- 6. 弁護士相談や女性相談、男性相談、メンタル相談を利用した
- 7. その他(具体的に: )

問21. あなたは「名張市男女共同参画センター」のホームページ(※)をご覧になったことがありますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

- 1. はい
- 2. いいえ

(※ホームページ: <http://www.emachi-nabari.jp/danjo-center/>)

## 7 あなた自身のことについて

問22. 次にあげる問A～Eについてそれぞれ1つずつ選んで○印をつけてください。

8 男女共同参画に関して、ご意見がありましたらご記入ください。

アンケートは以上で終わりです。ご協力ありがとうございました。  
お手数ですが平成26年10月31日（金）までに同封の返信用封筒（切手は不要です）に入れてご返送してください。

